Panasonic®

添付文書
取扱説明書

アルカリイオン整水器　家庭用

品番　**TK7815**

還元工房

はじめに
取り付けと準備
ご使用の前に
使う
こんなときには

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■ **ご使用前に「安全上のご注意」(4〜6ページ)を必ずお読みください。**
■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
■ 正しい取り付け、および正しく使用されなかった場合の製品の故障および事故について、当社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

このアルカリイオン整水器の

交換用カートリッジは
品番：TK7815C1 です
●交換方法は ➡48ページ

保証書別添付

アルカリイオン整水器 なら
濁りやにおいをとり、おいしい水になります。

●電気分解により、アルカリイオン水、弱酸性水を生成します。
●においや微細な濁りなどを除去し、おいしい水をつくります。
●除去できる物質は…

・遊離残留塩素　・濁り
・総トリハロメタン　・クロロホルム　・ブロモジクロロメタン
・ジブロモクロロメタン　・ブロモホルム　・テトラクロロエチレン
・トリクロロエチレン　・1, 1, 1-トリクロロエタン
・CAT（農薬）　・2-MIB（カビ臭）　・溶解性鉛　です。

■効能・効果について

本器は医療用物質生成器として承認を受けており、下記の効能・効果が認められています。

アルカリイオン水（陰極水）

●飲用して
・慢性下痢・消化不良・制酸
・胃酸過多・胃腸内異常発酵
に有効です。

弱酸性水（陽極水）

●弱酸性のアストリンゼント（化粧水）として美容に用いられます。

※ 腎疾患（腎不全やカリウム排泄障害）の方は、アルカリイオン水を飲用しないでください。

本書では…

「アルカリイオン水」・「弱酸性水」の用語を使用しています。
これは JIS T 2004（家庭用電解水生成器）で示される「アルカリ性電解水」・「酸性電解水」のことです。

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

警告

■ 分解したり、修理・改造しない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

● 修理は販売店にご相談ください。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

禁　止

・ステープル（冂）などで固定する
・傷つける　・加工する
・無理に曲げる　・ねじる
・引っ張る　・熱器具に近づける
・重いものを載せる　・束ねる
・はさみ込む　など

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● 電源プラグをコンセントから抜くときはコードを持たずプラグを持って抜いてください。
● コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

■ 電源プラグは、根元まで確実に差し込む

必ず守る

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く

必ず守る

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

禁　止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■ 本体を誤って水中に落としたときは、電源プラグをコンセントから抜き、引き上げる

必ず守る

感電の原因になります。

● 修理は販売店にご相談ください。

⚠警告

■ 飲用に合格した水（水道水など）以外には使用しない

禁　止

殺菌能力がなく、有害物質が除去できないため、飲むと体調を損なう原因になります。

■ 次の方はアルカリイオン水を飲む前に医師に相談する

必ず守る

- 医師の治療を受けている方
- 持病のある方、または身体の弱っている（異常を感じている）方
- 腎不全やカリウム排泄障害以外の腎疾患の方

■ アルカリイオン水を飲用して身体に異常を感じたとき、または飲用し続けても症状に改善が見られない場合は、使用を中止し、医師に相談する

必ず守る

■ 次の方は弱酸性水を使用する前に、医師に相談する

必ず守る

- 肌の弱い方
- アレルギー体質の方

■ 初めて飲む方は、「アルカリ1（飲み始め）」から少量（コップ1～2杯）ずつを2週間程度使用し、アルカリイオン水に慣れてから「アルカリ2（飲み慣れ）」、「アルカリ3（日常飲用）」を使用する

必ず守る

初めから強いアルカリを使用したり、多量に（コップ3杯以上）飲むと、体調を損なうことがあります。

⚠注意

■ 腎疾患（腎不全やカリウム排泄障害）の方はアルカリイオン水を飲用しない

禁　止

■ 医薬品をアルカリイオン水で服用しない

禁　止

■ pH10以上の水（アルカリ強1・強2）を直接飲まない

禁　止

体調を損なう原因になることがあります。

- 飲用にはpH9.5前後「アルカリ3（日常飲用）」をおすすめします。また、1日あたりの飲用量は、0.5リットルから1リットルを目安にしてください。

■ 弱酸性水を使用して、肌に異常を感じたときは、使用を中止し、医師に相談する

必ず守る

■ アルカリイオン水や浄水をくみ置きする場合は、清潔な密閉容器に入れて、常温で1日以内、冷蔵庫に保存して2日以内に使う

必ず守る

殺菌剤（カルキなど）が除去されているため、水が変質し、体調を損なうことがあります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠注意

■ 次のような水は飲まない

禁　止

- 弱酸性水および酸性水
- 排水ホースから出る水
- 「準備中」または電極自動洗浄中に吐水口から出る水

体調を損なう原因になることがあります。

■ アルカリイオン水や弱酸性水・浄水を魚などの飼育水に使用しない

禁　止

環境が変わり、魚などが死ぬ原因になることがあります。

■ アルカリに弱いアルミ製容器や、酸に弱い銅製容器などは使用しない

禁　止

容器が変色したり、傷むことがあります。

■ 指定のグリセロリン酸カルシウム製剤以外のものは入れない

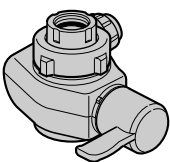
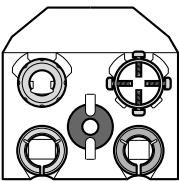
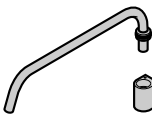
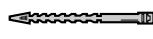
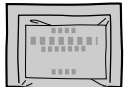
禁　止

体調を損なうことがあります。

- 付属品または別売品（P-A5101）をお使いください。

■ 使い始めは本体内部の溜まり水を流す

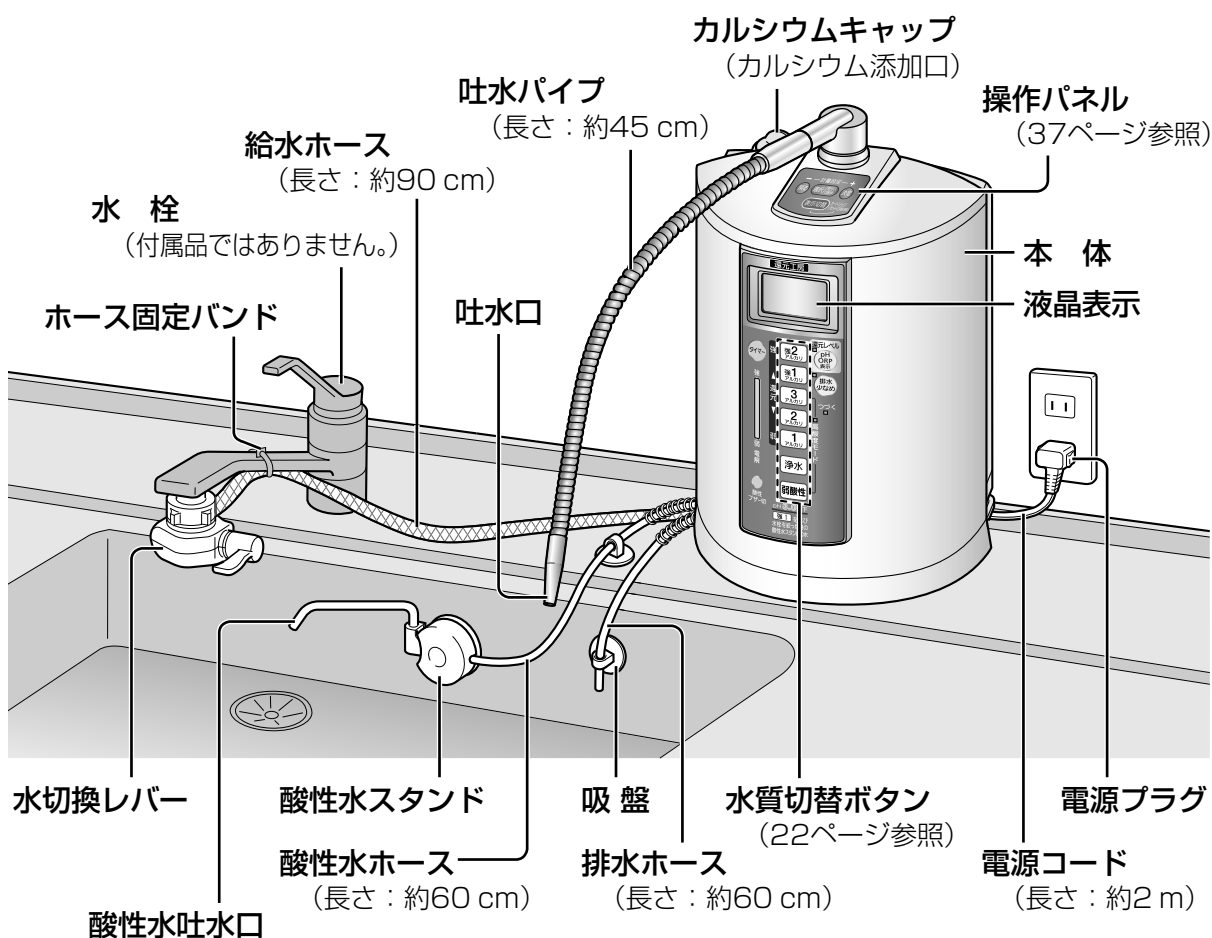
必ず守る

毎日の使い始めは	2日以上使用しないときは
約0.6リットル（約15秒間）通水後に使用する	約8リットル（約3分間）通水後に使用する

体調を損なうことがあります。

付 属 品

ご使用いただく前に次の付属品をお確かめください。万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店までお申し付けください。

水切換レバー取り付け用	本 体 取 り 付 け 用	消 耗 品
水切換レバー 固定具セット	酸性水スタンド（酸性水吐水管・継手・吸盤・カバー）（パッキン付） 取付板（酸性水スタンド用） 吸 盤（2個）（酸性水、排水ホース用） 吐水パイプ（パッキン付） ホース固定バンド	グリセロリン酸カルシウム製剤（6g入×1袋） 別売品 品　番：P-A5101 pH センサー校正液セット 別売品 品　番：TK780503 pH 試験液 別売品 品　番：TK805003

各部のなまえとご使用までの手順

- アルカリイオン水使用中に酸性水が出ます。（洗い物などに使用してください。）

ご使用までの手順

1 水栓を確認する
（8～9ページ参照）

2 水切換レバーを取り付ける
（10～11ページ参照）

3 本体を設置する
（12～15ページ参照）

4 電源プラグを差し込む
（15ページ参照）

5 約3～4分間アルカリイオン水を通水する
（本体内の空気抜きのため）
- 液晶表示に「準備中」が約20秒間点滅します。

6 水漏れがないか、また吐水口および酸性水吐水口から水が出ているか確認する
（16～17ページ参照）

7 pH（水素イオン濃度）を測定する
（18ページ参照）

▼

使　う（22～25ページ参照）

お知らせ
- pHを測定して、「pHの目安」の範囲内に入っていれば、グリセロリン酸カルシウム製剤を添加する必要はありません。（42ページ参照）

水栓を確認する

水切換レバーを取り付ける前に、お使いの水栓を確認してください。

取り付けできる水栓（取り付けかたは10～11ページ）		使用する固定具
外側にねじがある水栓	**ねじ径**：22 mm 6 mm以上 ねじ 6 mm以上	パッキン付　泡沫用つぎてA（水切換レバーに装着） **または** 泡沫用つぎてB　パッキン付
先がふくらんでいる水栓	**パイプ径**：16 mm ふくらみ	取付リング用パッキン 取付リング（小・白）
	パイプ径：19 mm ふくらみ	取付リング用パッキン 取付リング（大・ベージュ）
	パイプ径：16 mm・19 mm **以外** ストレート部分 11 mm以上 13 mm～24 mm 未満	取付金具（ねじ4本付）
ストレート型	**水栓先端径**：13 mm～24 mm 未満 ストレート部分 11 mm以上	

取り付けできない水栓

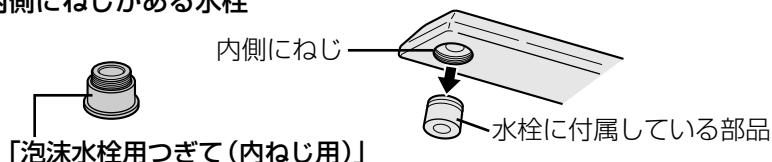
- そのほかにも変形水栓や、ねじ径（22 mm以外）やパイプ径の違うものがありますので、ご注意ください。
  ※ **分岐水栓を使用すると取り付けできる場合がありますので、販売店または工事店にご相談ください。**
- 先端部分がプラスチック製のもの（断熱キャップ付）では、取り付け部より水漏れする場合があります。

別売品（71～72ページ参照）を使用して取り付けできる水栓

内側にねじがある水栓

内側にねじ

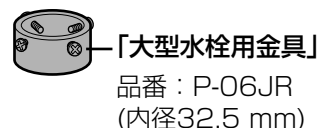
水栓に付属している部品

「泡沫水栓用つぎて（内ねじ用）」

品番：PRV-D8623K（KVK・TOTO 製水栓用：W23, 山20）
PRV-D8623M（ミズタニ・MYM 製水栓用：W24, 山20）
PRV-D8623G（GROHE・カクダイ・MOEN・YANMAR・タカギ 製水栓用：M24, ピッチ1 mm）

水栓メーカー・品番をご確認のうえ、販売店にご相談ください。

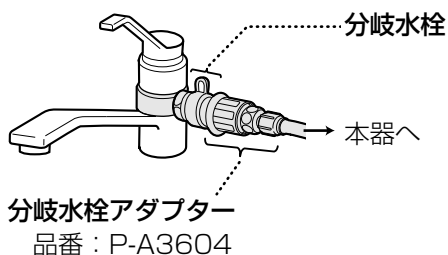
大型の水栓

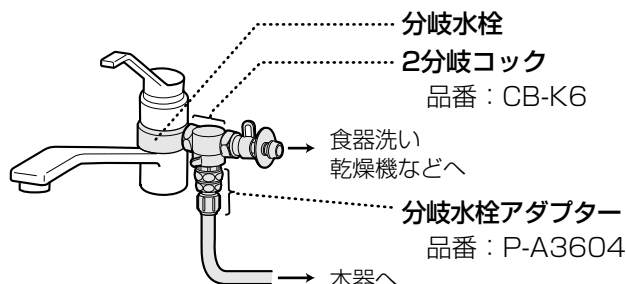
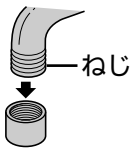
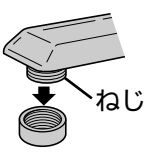
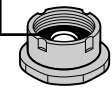
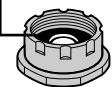
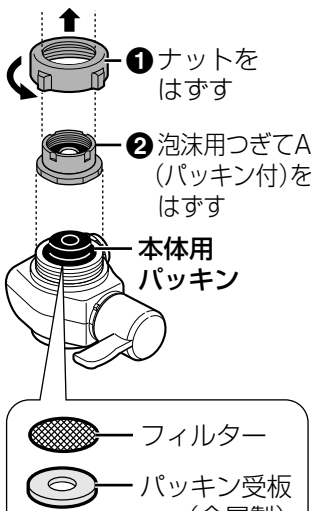
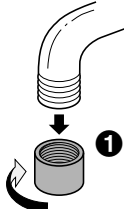
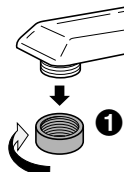
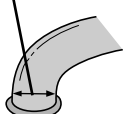
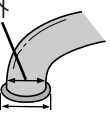
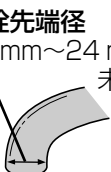
水栓先端径：24 mm～32 mm

「大型水栓用金具」
品番：P-06JR
(内径32.5 mm)

分岐水栓を使用する場合

水切換レバーが水栓に取り付けられない場合など

本器のみ設置（単品設置）

- 別途、以下の部品を購入する必要があります。

食器洗い乾燥機などと同時に設置（複数設置）

- 別途、以下の部品を購入する必要があります。

お客様が行ってください。	1. **ご自宅の「水栓のメーカー名と品番」を調べ、「取付方式（単品または複数設置）」を決める**（わからないときは、販売店または工事店に相談してください。） 2. **販売店または工事店に「商品品番（TK7815）」・「水栓のメーカー名と品番」・「取付方式」を連絡し、設置工事を依頼する**
販売店または工事店の作業	3. **分岐水栓の選定、入手（必要に応じて2分岐コックも入手）** 詳しくは下記、分岐水栓ガイドのホームページをご覧ください。 **http://panasonic.jp/bunki/**（2009年1月現在） 4. **分岐水栓アダプターの入手、取り付け** 5. **本体の配管、設置** 6. **通水試験、動作確認を行い、設置完了**

- 水栓によっては、分岐水栓による取り付けができないものがあります。
- **接続は、給水配管に行ってください。給湯配管には接続しないでください。**
- 部品代、工事費は、本体の価格には含まれていません。

水切換レバーを取り付ける

使わない部品は、転居時や水栓の取り替えなどにそなえ、保存しておいてください。

水栓の形状	使用する固定具	1 水切換レバーの分解	2 水切換レバーの取り付け

外側にねじがある

ねじ径22 mm

泡沫用つぎてA
（水切換レバーに装着）
パッキン付

または

泡沫用つぎてB
パッキン付

● はずれたときは元に戻す

先がふくらんでいる

パイプ径
16 mm

取付リング
（小・白）

取付リング用パッキン

パイプ径
19 mm

取付リング
（大・ベージュ）

※泡沫用つぎては使いません。

取付リング用パッキンは番号があるほうを下にする

先がふくらんでいる・ストレート型

パイプ径
16 mm・19 mm
以外

13 mm～24 mm
未満

水栓先端径
13 mm～24 mm
未満

取付金具
（ねじ4本付）

※泡沫用つぎては使いません。

❶取付金具のねじ（4本）をはずす

※水栓に合ったつぎてを選ぶめやす

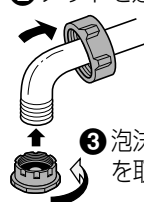
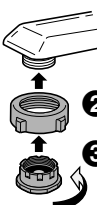
適合水栓

つぎてA: W22・山20
（水切換レバーの装着品）
TOTO・INAX・MYM・KVK・カクダイ・ミズタニ 製の水栓などに

つぎてB: M22・ピッチ1mm
（本器の付属品）
YANMAR・GROHE・MOEN製 の水栓などに

水栓メーカーが分からない場合は、つぎてのパッキンをはずし、「**軽く回して根元まで締まる方**」を選んでください。取り付けるときはパッキンをもとに戻してください。

パナソニックのホームページ http://panasonic.jp/alkaline/toritsuke/ で、取り付けを実演した動画をご覧いただけます。（2009年1月現在）

● ナットの締めつけには、工具を使わないでください。（ナット破損の原因）

❷ナットを通す

❸泡沫用つぎてを取り付ける

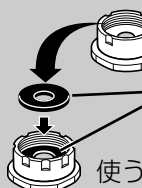
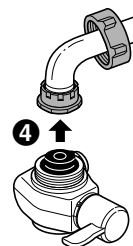
※ **水栓に合ったつぎて（AまたはB）を選んでください。**（10ページ下参照）

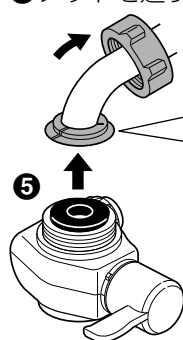
- 泡沫用つぎては、まっすぐに強くねじ込んでください。
（ななめにねじ込むと、ねじ山がつぶれ、水漏れの原因になることがあります。）

- **泡沫用つぎてから水が漏れる場合**

❻ナットを確実に締めつける

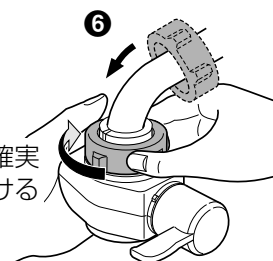
❷ナットを通す

❸泡沫用つぎてを取り付ける

❺ナットを確実に締めつける

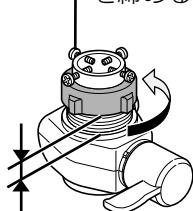
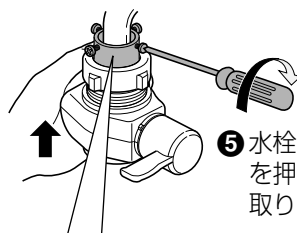
❸ナットを通す

❹取付リングを取り付ける（小 または 大 を使用）

切れ目のない部分を水栓のふくらみに当てる

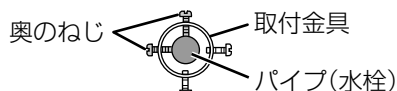
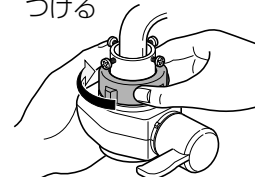
切れ目部分を押し込む

❻

❼ナットを確実に締めつける

- **取付リングがうまく取り付かない場合**や**水が漏れる場合**は、付属の**取付金具**で取り付けてください。（下記参照）

❸軽くねじ（4本）を締める

❹すきまが3 mm～4 mmになるまでナットをゆるめる

❺水栓に水切換レバーを押し付けながら取り付ける

❻ナットを確実に締めつける

パイプが中央にくるように、奥のねじ2本をパイプに当たるまで、手で締める

残りのねじ2本をドライバーで締める

水切換レバーを取り付ける

本体を設置する

⚠注意

■ 本体は平らな場所に設置する

必ず守る

不安定な状態で設置すると転倒し、けがをすることがあります。

■ 吐水口にホースや他の器具を接続しない

禁　止

水漏れや故障の原因になることがあります。

■ 水の出口をふさいだり、ホースを折り曲げたり、ねじったり、つぶしたりしない

禁　止

水漏れや適切なpHの水が出なくなる原因や故障の原因になることがあります。

■ 逆止弁（水の逆流防止弁）の付いていない給湯設備に接続しない

禁　止

給湯設備が故障する原因になることがあります。

■ 元止式湯沸器（湯の出口で止水できない構造のもの）に接続しない〔瞬間湯沸器など〕

禁　止

湯沸器が故障する原因になることがあります。

設置上のお願い

■ **次のような場所には、設置しないでください。**（故障の原因）

- 火を使用しているところ、その他の高温部（60℃以上）の近く
- 直射日光のあたるところ
- 油が付着するところ
- 屋外や風雨にさらされるところ
- 浴室や水・蒸気のかかるところ
- 凍結の可能性のあるところ　など

■ **水の出口を市販のホースなどで延長しないでください。**（故障の原因）

- 吐水パイプを延長するときは、別売品の「延長吐出管（延長吐水パイプ）」をお使いください。（71ページ参照）
- 付属の酸性水ホースおよび排水ホース（長さ 約60 cm）では長さが足りないときは、別売品の「酸性水ホース（長さ2.5 m）」「排水ホース（長さ 2.5 m）」をお使いください。（72ページ参照）

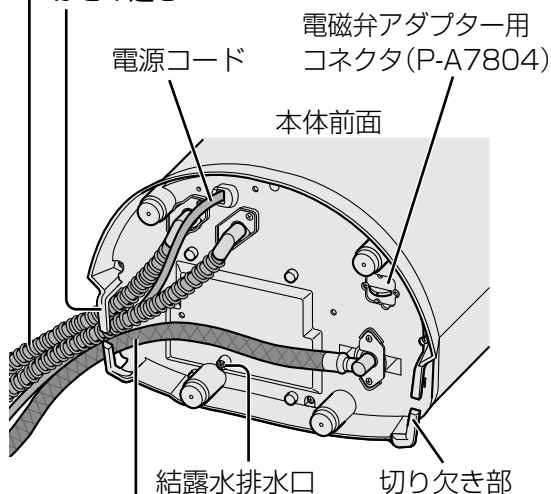
■ **お湯専用の水栓には取り付けないでください。**（故障の原因）

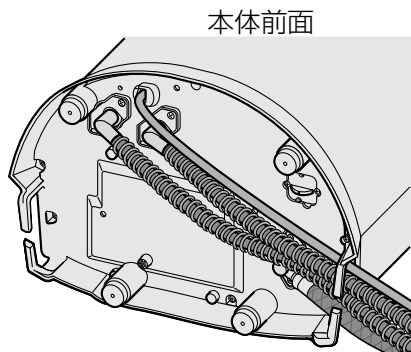
準　備

1 設置場所に合わせて、電源コード・ホースを引き出す

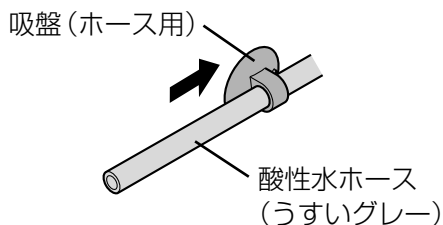
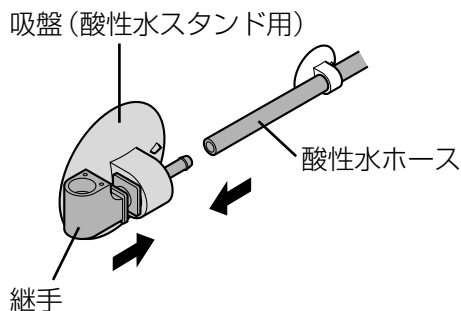
- つぶれたり、折れたりしないようにしてください。

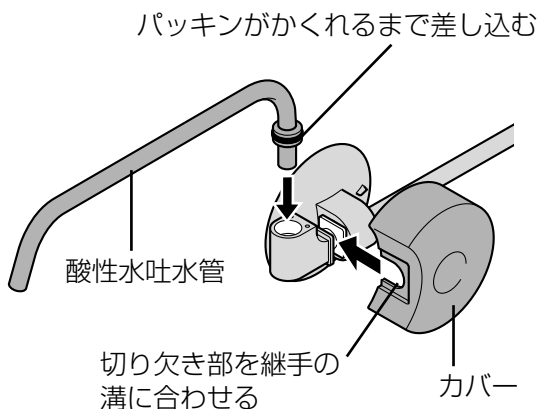
本体底面

左側から引き出す場合

給水ホースが結露水排水口に重ならないようにしてください。
（設置したとき、本体が不安定になるため）

右側から引き出す場合

2 酸性水ホースに、酸性水スタンドを取り付ける

❶ 吸盤（ホース用）を酸性水ホースに通す

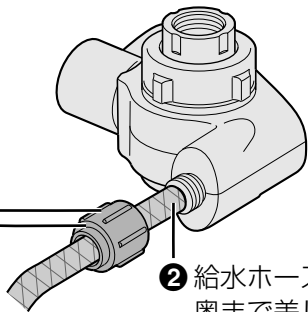
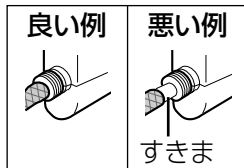
- ホースに貼っているラベルの表示を確認してください。

❷ 継手を吸盤(酸性水スタンド用)に取り付け、酸性水ホースを差し込む

- 酸性水スタンドを取り付ける場所や方向に合わせ、向きを変えてください。

❸ 継手に酸性水吐水管とカバーを取り付ける

本体を設置する

1 準備ができたら 給水ホースを接続する

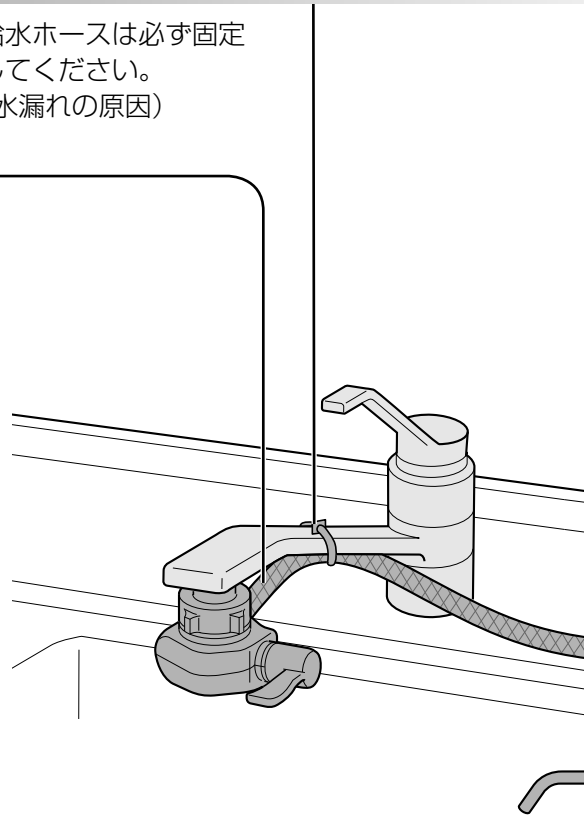
❶ ホース締付ナットを水切換レバーからはずし、給水ホースに通す

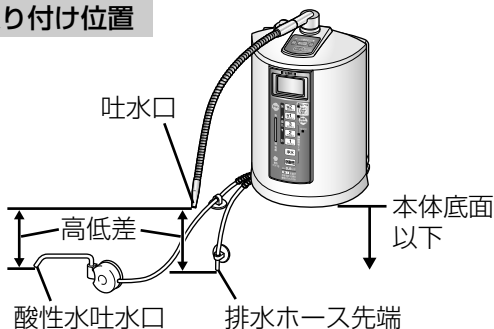
❷ 給水ホースを、奥まで差し込む

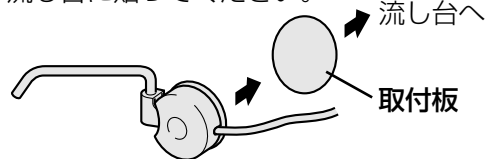
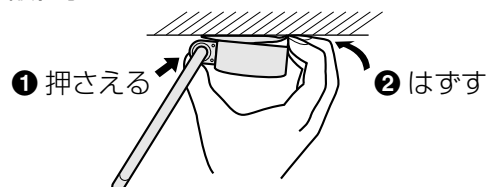
良い例	悪い例
	すきま

❸ ホース締付ナットで確実に締めつける

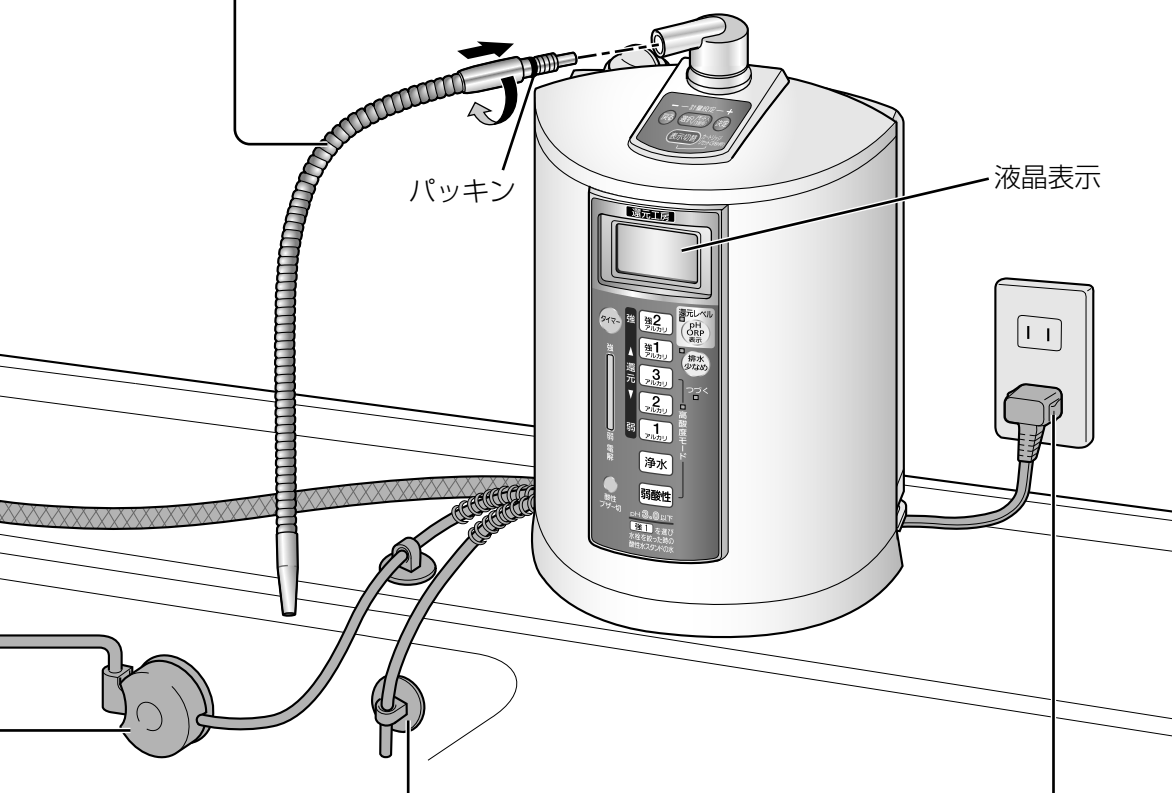
● 工具を使わないでください。
（ホース締付ナット破損の原因）

2 ホース固定バンドで 給水ホースを固定する

● 給水ホースは必ず固定してください。
（水漏れの原因）

4 酸性水スタンドを取り付ける

取り付け位置

● 酸性水吐水口および排水ホース先端の位置は、
本体底面以下に
また、吐水口との高低差は10 cm以上50 cm未満に
〔適切なpH（水素イオン濃度）を得るため〕

● 吸盤がはずれる場合は、付属の**取付板**を流し台に貼ってください。

■ **酸性水スタンドのはずしかた**

3 止まるまで確実に 吐水パイプをねじ込む

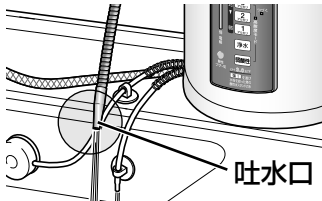
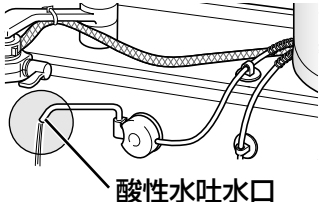
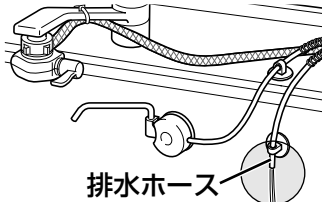
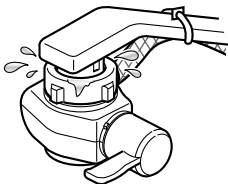
- 工具を使わないでください。（破損の原因）
- パッキンがねじれないようにしてください。（水漏れの原因）
- 吐水パイプを持って、本体を持ち上げないでください。（破損の原因）

5 酸性水ホース、排水ホースを吸盤で固定する

- ホースが浮かないように固定してください。
- 排水ホースの下に、くず入れなどを置かないでください。

6 電源プラグを差し込む（交流100 V）

- ブザーが「ピッ」と鳴り、約15秒後、液晶表示がブルーに点灯し「アルカリ1（飲み始め）」を表示します。
- 待機時も約0.7 Wの電力を消費しています。

お願い

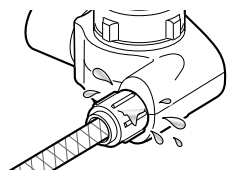
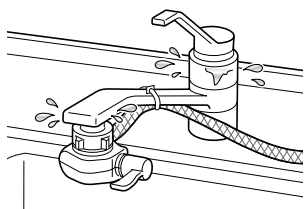
- **設置後、3～4分間アルカリイオン水を通水し、本体の空気抜きをしてください。**
- 通常は電源プラグを抜かないでください。（電極自動洗浄を機能させるためです。）

お知らせ

- ホースの長さがたりないときは、別売品のホースをお使いください。（72ページ参照）
- ホースが長すぎる場合は、ホースを切って使用することをおすすめします。（切るときは、まっすぐに切ってください。）
- 設置直後は、通水すると液晶表示に「準備中」が約20秒間点滅します。（7ページ参照）

設置後の確認

設置後、通水して下記の項目を確認し、異常がある場合は各々の処置をしてください。

確認項目	異常時の点検個所と処置	参照ページ
吐水口から水が出ているか 	● 給水ホースが折れたり、つぶれたりしていないか ➜ まっすぐにしてください。	14 15
アルカリイオン水を通水したとき、酸性水吐水口から水が出ているか 	● 酸性水ホースが折れたり、つぶれたりしていないか ➜ まっすぐにしてください。	14 15
	● 液晶表示に〔水栓を絞る〕の表示が出ていないか ➜ 表示が消えるまで、水栓をゆっくりと絞ってください。	24
弱酸性水を通水したとき、排水ホースから水が出ているか 	● 排水ホースが折れたり、つぶれたりしていないか ➜ まっすぐにしてください。 ● 酸性水吐水口から水が出ていないか ➜ ホースが正しく接続されているか確認してください。	13 14 15
水切換レバー接続部に水漏れがないか 	● 水切換レバーを水栓に確実に取り付けているか ➜「水切換レバーを取り付ける」を再確認し、確実に取り付けてください。 ※ 泡沫用つぎての締めつけが弱いときは、給水ホースをいったん取りはずし、水切換レバーごと回転させると、しっかり締めつけられます。 ● 水切換レバー内の部品は正しく入っているか ➜ 部品を正しく取り付けてください。	10 11
	● 水栓の先端（断熱キャップなど）にひび割れがないか ➜ 水道工事店にご相談ください。	—

確認項目	異常時の点検個所と処置	参照ページ
給水ホース接続部に水漏れがないか	●給水ホースを水切換レバーに確実に取り付けているか ➡奥まで差し込み、ホース締付ナットで締めつけてください。	14
吐水パイプ接続部に水漏れがないか	●吐水パイプを本体に確実に取り付けているか ➡止まるまで、しっかりねじ込んでください。 ●吐水パイプにパッキンが付いているか、また、ねじれていないか ➡パッキンを正しく取り付けてください。	15
水栓から水漏れがないか	●水栓のパッキンが古くなっていないか ➡水道工事店にご相談ください。 ●水栓（断熱キャップなど）にひび割れがないか ➡水道工事店にご相談ください。	—

⚠注意

付属品は乳幼児の手の届くところに置かない

禁　止

誤って飲み込むおそれがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

pH（水素イオン濃度）を測定する

設置後および長期間（目安：約1週間以上）使用しなかった場合は、必ずpHを測定し、「pHの目安」の範囲内に入っているか確認してからご使用ください。
その後も、定期的に（1カ月に1回以上）測定してください。

準備するもの：pH試験液（付属品）

■ 測定のしかた

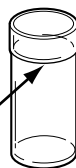
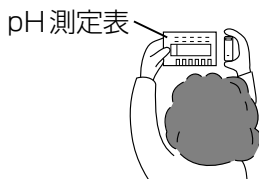
1 pH試験液を
試験カップに2滴落とす

● 2滴以外では正確に判定できません。

2 生成水（アルカリイオン水または弱酸性水）を
約10秒以上流す
（安定したpHを測るため）

3 試験カップに
試験水を入れる

● 試験水をあらかじめコップなどに採水し試験カップに入れると、カップラインに合わせやすくなります。
● 入れる量は、カップラインの上下約5 mmの範囲であれば、問題なく判定できますので、ラインに合わなくても、やり直す必要はありません。

カップラインまで入れる

4 明るいところで
pH測定表と比較する

⚠注意

■ pH試験液は、火気に近づけない

火気禁止

引火し、火災の原因になることがあります。

■ pH試験液や試験液の入った水は、飲んだり、目に入れたりしない
（特にお子様にはご注意ください。）

禁　止

体調を損なうことがあります。

● もし誤って飲んだ場合は水を多量に飲み、目に入れた場合は十分に水洗いをし、医師に相談してください。
● 必ずフタをして、乳幼児の手の届かないところに保管してください。

	pHの目安
アルカリ強2	10～11
アルカリ強1	9.5～10.5
アルカリ3	9～10
アルカリ2	8.5～9.5
アルカリ1	8～9
弱 酸 性	5～6.5

お願い

● **時間が経過すると試験水の色が変化します。時間を置かずにpH測定表と比較してください。**
● 市販のリトマス試験紙などでは正確に測定できません。必ずpH試験液で測定してください。
● pH試験液の原液を捨てるときは、水で薄めて下水に流してください。
● pH試験液やpH測定表は日光に当てると変色しますので、暗いところに保管してください。

お知らせ

- このpH試験液は、pHの目安を測るためのものです。
  ※ 試験液の主な成分は、エタノール、メチルレッド、ブロモチモールブルー、フェノールフタレインです。
- 水質により、生成水のpHが液晶表示のpHと異なる場合、またはアルカリイオン水がアルカリ性を示さない（青や紺の液が、緑や黄色に変色する）場合があります。そのときは、以下の処置をしてください。
  ①「アルカリ」または「弱酸性」のpHを微調整する（26ページ参照）
  ②グリセロリン酸カルシウム製剤を添加する（42ページ参照）
  ③「高酸度」モードをONに設定する（38ページ参照）
  ※また、原水を測定した場合、試験水の色がpH測定表と異なることがあります。
  （水中の炭酸や各種成分の影響）
- pHが高い場合は、弱いアルカリに水質を切り替えたり、浄水を混ぜてお使いください。
- **カートリッジが新しいとき（約1週間）は、pHがやや高くなることがありますが、異常ではありません。**

ご使用上のお願い

■ **吐水パイプを持って、本体を持ち上げないでください。**（破損の原因）

■ **吐水パイプがゆるんだまま使用しないでください。**（水漏れや破損の原因）
※ゆるんでいる場合は、確実にねじ込んでください。

■ **次のような水は通水しないでください。**
（カートリッジ寿命が短くなる原因）
・濁りのひどい水　　・赤サビの多い水

■ **海水などの塩分を含んだ井戸水（海岸近くの井戸水）は、通水しないでください。**（故障の原因）

■ **アルカリイオン水または弱酸性水は、右表の時間以上連続して使用しないでください。**
右表の時間以上使用すると、液晶表示に**「U27」**（61ページ参照）を表示し、電気分解を中止します。

■ **地域・水質によっては、指定のpHが得られないことがあります。特に地下水を水源とした地域では、設置前に酸度測定試薬（品番：PJW-T8667）による酸度の測定を販売店にご相談ください。**

■ **水質の※硬度が高い地域で使用するときは…**
・毎日1回、使用する前に約1分間、弱酸性水を通水してください。
（吐水口や通水路にカルシウムが付着し、水の出が悪くなるため）
※硬度が高い地域では、石けんの泡立ちが悪かったり、やかんや鍋などに白いもの（カルシウム）が付着します。

アルカリ強１・強２	約10分
アルカリ3	約1時間※
アルカリ2	約1時間※
アルカリ1	約1時間※
弱 酸 性	約10分

※「排水少なめ」・「高酸度」モード（25ページ参照）の場合は、約10分になります。

ご使用の前に

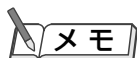
上手にお使いいただくために（用途に合わせてお使いください。）

		用途		pHの目安
強2 アルカリ	**アルカリイオン水は** ●「アルカリ1」↓「アルカリ2」↓「アルカリ3」↓「アルカリ強1」↓「アルカリ強2」の順に、pHが約0.5程度強くなります。この取扱説明書ではアルカリ1〜3を総称して**「アルカリ」**と表現しています。 ●1日あたりの飲用量は「アルカリ3」で0.5リットルから1リットルを目安にしてください。	**アク抜き強**	ゴボウやコンニャクの強いアク抜き **（直接飲まないでください。）**	11〜10
強1 アルカリ		**アク抜き野菜ゆで**	ゴボウやコンニャクのアク抜き ホウレン草のおひたし など **（直接飲まないでください。）**	10.5〜9.5
3 アルカリ		**日常飲用**	コーヒー・紅茶・緑茶・煮物・鍋物・汁物 など	10〜9
2 アルカリ		**飲み慣れ**	お米を炊くとき	9.5〜8.5
1 アルカリ		**飲み始め**	アルカリイオン水を初めて飲むとき（2週間程度）	9〜8
浄水	**浄水は** ●ろ過された不純物の少ない水です。	**薬・ミルク**	薬の服用時やミルクの溶き水・飲用などに **電気分解はされていません**	―
弱酸性	**弱酸性水は** ●肌に近い弱酸性の水です。	**洗　顔**		6.5〜5
pH 3.0以下 強1 を選び水栓を絞った時の酸性水スタンドの水	**酸性水は** ●強1アルカリ を押し、水栓を絞ると酸性水吐水口からpH 3以下の酸性水が出ます。	食器の茶しぶとり、魚料理をしたあとのにおいとり　などに		※ 3.0〜2.6

（左側表示：強 ▲ 還元 ▼ 弱）

pH3の水質表示ランプ

※ pH3の水質表示ランプが点灯したとき

メモ

● **アルカリイオン水でお米を炊くときは**
アルカリイオン水のpHが高くなるほど、ご飯がやわらかめになります。お好みに合わせて水量やアルカリレベルを調整してください。**（おすすめ：pH9.0以下）**

● **pH（水素イオン濃度）とは**
水（水溶液）のアルカリ性・中性・酸性の程度を示すもので、水素イオン指数のことです。

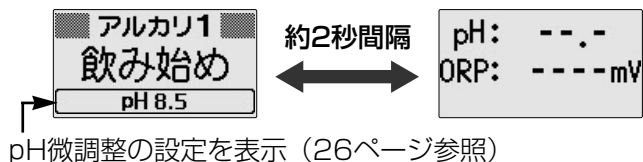
● **ORP（酸化還元電位）とは**
その水が持っている電気的エネルギーが、ものを「酸化させる」か「還元させる」かを表す指標です。

酸化：ものを錆びさせる（酸素を与える）こと
還元：酸化したものを元に戻す（酸素を奪う）こと
電位：作用をおよぼす電気的エネルギー（mV）の強さ

※詳しくは、56ページをご参照ください。

使用中の液晶表示について

使　用　中

（例）アルカリ1（飲み始め）

pH微調整の設定を表示（26ページ参照）

- アルカリイオン水・弱酸性水の生成中は、**pHの設定値・ORP**および**「電解中」**を表示

水栓を閉めると…

待 機 状 態

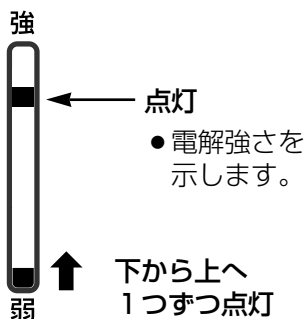
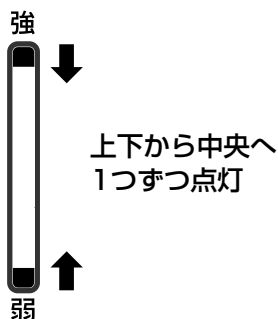
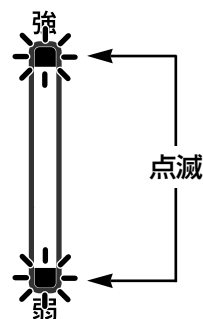
カートリッジ寿命を表示
（46ページ参照）

（例）

お知らせ

- 表示している「ORP」は、各種条件により算出した**平均的な推定値で、実測値ではありません。**（水質によっては、実際の数値とは異なる場合があります。）
- 液晶表示は、ボタン操作が終わってから、または水栓を閉めてから、約30～45秒後に消えます。（節電のため）**ボタン操作をする、または本体に通水すると、点灯します。**
- 流量が低下（約1.0 L/分未満）すると、通水中でもカートリッジ寿命を表示します。この場合、電気分解（電解・生成）していません。

電解シグナルについて

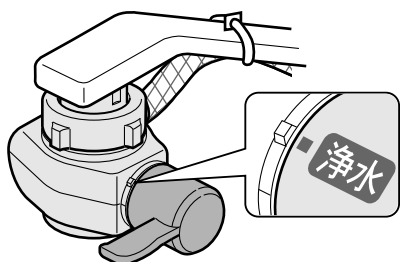
「電解中」に、電解強さ（電気分解するときの電力量）の目安として表示します。
止水中および浄水使用中は、表示しません。
※ 電解強さは、使用する水質切替ボタンや流量（電解する水の量）によって変化します。（12段階）

電解シグナルを表示したくないときは…

「設定のしかた」（40ページ）を参照し、「電解シグナル」をOFFにしてください。

使いかた

アルカリ・弱酸性・浄水を使う

1 水切換レバーを「浄水」に切り替える

浄水

2 使用する 水質切替ボタンを押す

- ブザーが「ピッ」と鳴り、**液晶表示**が点灯します。

3 水栓を開ける

- 「準備中」を表示します。

水質切替ボタン	用　　途	液晶表示の色
強2 アルカリ	アク抜き 強	イエロー
強1 アルカリ	アク抜き野菜ゆで	オレンジ
3 アルカリ	日 常 飲 用	ブルー
2 アルカリ	飲 み 慣 れ	ブルー
1 アルカリ	飲 み 始 め	ブルー
浄水	薬・ミルク	グリーン
弱酸性	洗　顔	ピンク

※アルカリ強1・強2では、用途を表示しません。(「pH/ORP表示」モードの場合) 液晶表示の色を確認してご使用ください。

1

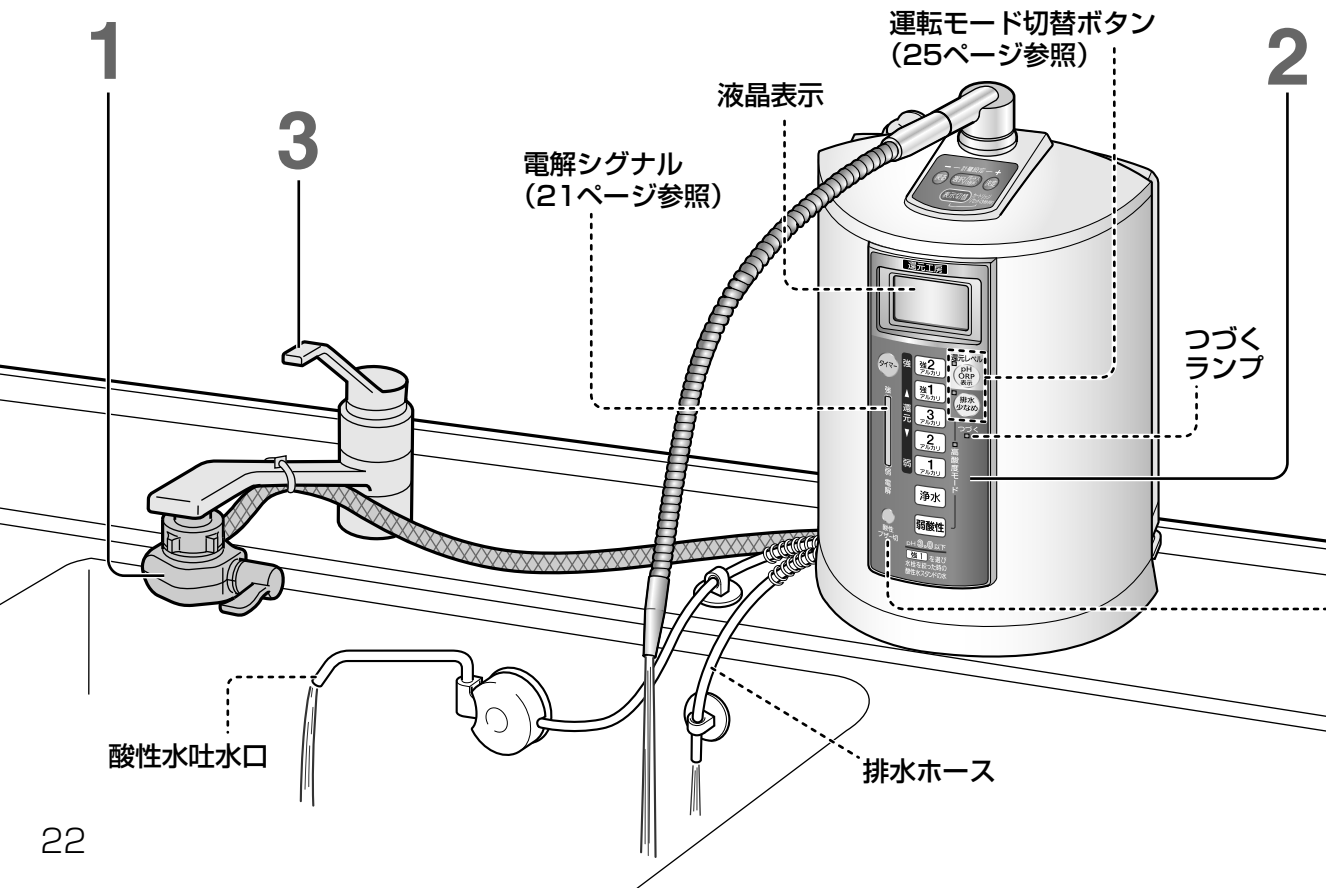
3

運転モード切替ボタン
(25ページ参照)

2

液晶表示

電解シグナル
(21ページ参照)

つづく
ランプ

酸性水吐水口

排水ホース

4 使　う

- 「準備中」の表示が消え、ブザーが「ピッピッピッ」と3回鳴ると使用できます。

※まちがって飲用しないよう、弱酸性水使用中は警告のブザーが鳴り続けます。**(弱酸性ブザー)**

アルカリイオン水使用中は

- 排水ホースからアルカリイオン水が出ます。（飲用ではありません。）
- 酸性水吐水口から酸性水が出ます。（pH の目安については、60ページ参照）

■ 酸性水吐水口からpH 3以下の酸性水を出したいときは…

強1 アルカリ を押し、pH 3の水質表示ランプが点灯するまで**水栓をゆっくり絞ってください。**

浄水使用中は

酸性水吐水口・排水ホースから水は出ません。

弱酸性水使用中は

排水ホースからアルカリイオン水が出ます。（飲用ではありません。）

つづくランプについて

つづくランプは、「アルカリ1・2・3」・「浄水」を使用すると点灯します。点灯中は、水栓を開けるとすぐに使用できます。**同じ水質をつづけて使うときに便利です。**

例えば
- **お米をとぐとき**
- **コップに注いで何杯か飲むとき　　などに**

- つづくランプは、水質を切り替えたとき、または水栓を閉めてから約10分後に消灯します。
- **アルカリ強1･強2、弱酸性では、つづくランプは点灯しません。**

弱酸性ブザーをとめるには…

酸性 ブザー切 **を押す**　※再度、弱酸性水を使用すると、ブザーが鳴ります。

■ 弱酸性ブザーを鳴らしたくないときは…

「設定のしかた」(39ページ) を参照し、「弱酸性ブザー」をOFFにしてください。

使用後、
水栓を閉めると…

- アルカリ強1･強2、弱酸性を使用したときは、水質が前回使った「アルカリ」に自動的に戻ります。（「アルカリ優先」設定 ON のため）
- 浄水を使用したときは、「アルカリ優先」設定 ON のときのみ、アルカリに自動的に戻ります。
- つづくランプ消灯後、排水ホースから約90秒間水が出ます。（本体内の水抜きのため）

お知らせ

- 使用中に酸性水吐水口または排水ホースから出る水は、ためて洗い物やお風呂などにお使いください。
  - ※ 容器などにためる場合は、容器の水面が本体底面より高い位置にならないようにしてください。また、酸性水吐水口や排水ホースの先端部分は、水面から離してください。（14ページ参照）
  - ※ 洗い物のすすぎには使用しないでください。
  - ※ 24時間バスのお風呂には使用しないでください。（浄化能力低下の原因）
- 水栓を閉めた後も、吐水口から少し水が出ることがありますが、異常ではありません。
- 水質切替ボタン上に、点字表示をしています。（58ページ参照）

お 願 い

- **24時間以上使用していないと、アルカリイオン水または浄水を通水したときブザーが「ピッピッ…」と鳴り、電極自動洗浄に入り液晶に「電極洗浄中」の表示が出ます。**（約15秒間）**このとき吐水口から出る水は使用しないでください。**（43ページ参照）

ブザーの音量は…

- 「大」･「中」･「小」の3段階に調節できます。（40ページ参照）

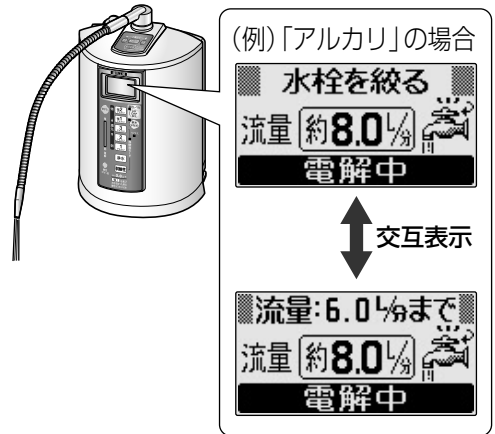
アルカリ・弱酸性・浄水を使う（つづき）

■〔水栓を絞る〕の表示が出たとき（アルカリ・弱酸性使用中のみ）

水の流量が多すぎる場合に表示します。
（十分なpHが得られないことがあります。）

▼

表示が消えるまで※、**水栓をゆっくりと絞ってください。**
※「アルカリ」の場合：流量約6.0 L/分
「弱 酸 性」の場合：流量約3.2 L/分

- 流量調節の目安にするため、〔水栓を絞る〕の表示が出ている間は、流量表示になります。
（吐水量表示でご使用の場合は、流量表示にはなりません。）
- 「アルカリ強1・強2」を使用しているときや、運転モードを「排水少なめ」または「高酸度」にしているとき（25ページ参照）は、〔水栓を絞る〕の表示が出やすくなります。
（この場合、流量3.2 L/分～2.2 L/分で消えます。）

お知らせ

- 使用中に、水栓を絞りすぎたり、水道水圧の変化で流量が低下（約1.0 L/分未満）すると、カートリッジ寿命を表示します。（アルカリ·弱酸性の場合は電解中止）そのままの状態で、水質切替ボタンを押すと、約4秒間水質表示をした後に、「流量が低下しています」と「水栓を絞りすぎていませんか」の表示が交互に出ます。再度使用する場合は、水質表示に戻るまで、水栓を開いてください。

水栓を閉めた後「アルカリ」に戻らないようにするには…

「設定のしかた」（39ページ）を参照し、「アルカリ優先」をOFFに設定してください。
- **「アルカリ優先」がOFFになるのは、浄水のみです。**
（アルカリ強1・強2、弱酸性を使用し水栓を閉めた後は、「アルカリ」に戻ります。）

運転モードについて

下記を参照し、使用目的に応じて運転モードを切り替えてください。
（お買い上げ時は「pH/ORP表示」モードになっています。）

操作方法：使用する運転モード切替ボタンを押す（選んだ運転モードのランプが点灯します。）

運転モード切替ボタン・ランプ	使　用　目　的	生成可能な最大流量	排 水 率 ※
還元レベル pH ORP 表示 ランプ（黄緑色）	●液晶表示に、還元レベル（pH/ORP）を表示する ●電解により生成できる水の量を多くする ●pHセンサーで生成水を測定し、液晶表示のpHと合うように自動調整をする	約 7 L/分	約 25 %
排水少なめ ランプ（黄緑色）	●アルカリイオン水使用中に、酸性水吐水口から出る水を少なくする （また、アルカリイオン水使用中は、排水ホースから水が出ません。）	約 4.0 L/分	約 10 %

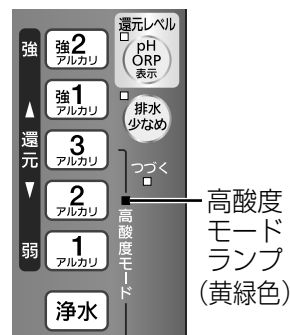
※ 排水率は「アルカリ」使用時（水圧100 kPa）の値です。

■ 使用原水（水道水）の酸度が高い場合は

炭酸を多く含んだ地下水（地下水を水源とした水道水）など、酸度の高い水をお使いの場合、アルカリイオン水がアルカリ性を示さないことがあります。

「設定のしかた」（38ページ）を参照し、「高酸度」モードをONに設定してください。

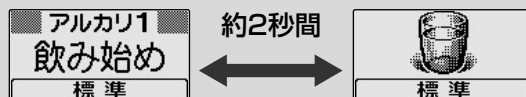
- 「高酸度モードランプ」が点灯し、pHが0.5～2.0程度強くなります。

※ 水の酸度が高い場合は、pHを測定（18ページ参照）したときに、青や紺の液が緑や黄色に変色します。

お知らせ

- 「高酸度」モードをONに設定して、pHが高くなり過ぎた場合は、「pH微調整」（26ページ参照）で「弱め」に設定してください。
- 「高酸度」モードをONに設定すると、「アルカリ強1・強2」の水質切替ボタン、「pH/ORP表示」モードおよび「排水少なめ」モードは使用できません。

- 「排水少なめ」・「高酸度」モードでは、用途を表す文字と絵を交互に表示します。pH/ORPは表示しませんので、**吐水のpHを測定し、確認してください。**（18ページ参照）
  ※電解性能を優先し、pHセンサーでの制御をしていないため

液晶表示

（例）アルカリ1（飲み始め）

pH（水素イオン濃度）を微調整する

運転モードごとに、「アルカリ」「弱酸性」のpHを微調整できます。
（「アルカリ強1・強2」は微調整できません。）
pHの微調整は運転モードごとに設定できます。

■「pH/ORP表示」モードの場合は

各水質切替ボタンに設定されているpHを、0.1単位で微調整できます。
調整幅は「アルカリ」：pH0.1～0.4
　　　　「弱 酸 性」：pH0.1～0.7

液晶表示

（例）アルカリ1

アルカリ1
飲み始め
pH 8.5

設定を表示します。

- お買い上げ時は
  アルカリ3：「pH9.5」
  アルカリ2：「pH9.0」
  アルカリ1：「pH8.5」
  弱 酸 性：「pH5.5」

■「排水少なめ」・「高酸度」モードの場合は

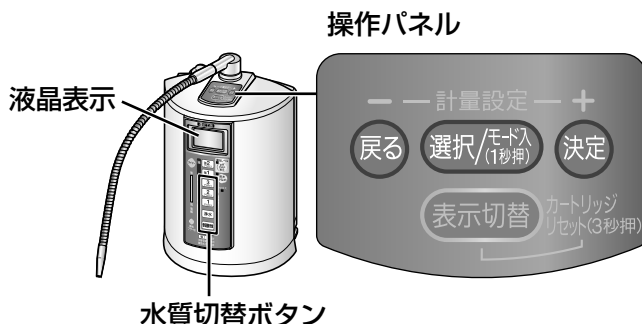
各水質切替ボタンに設定されている電解強さを、
アルカリは「標準」・「弱め」の2段階
弱 酸 性は「強め」・「標準」・「弱め」の3段階
に微調整できます。

※「標準」の設定に対し、「強め」・「弱め」それぞれpH0.2～1.5程度変化します。
（水質や使用条件により、変化量に幅があります。）

液晶表示

（例）アルカリ1

設定を表示します。

- お買い上げ時は「標準」

操　作

運転モード

1 水栓を閉め、操作パネルの
 を1秒間押す

2 そのまま、
 を押す

3 選択/モード入(1秒押) **を押し、「pH微調整」を選ぶ**

4 決定 **を押す**
- 運転モードのランプが点滅に変わる

5 選択/モード入(1秒押) **を押し、運転モードを選ぶ**

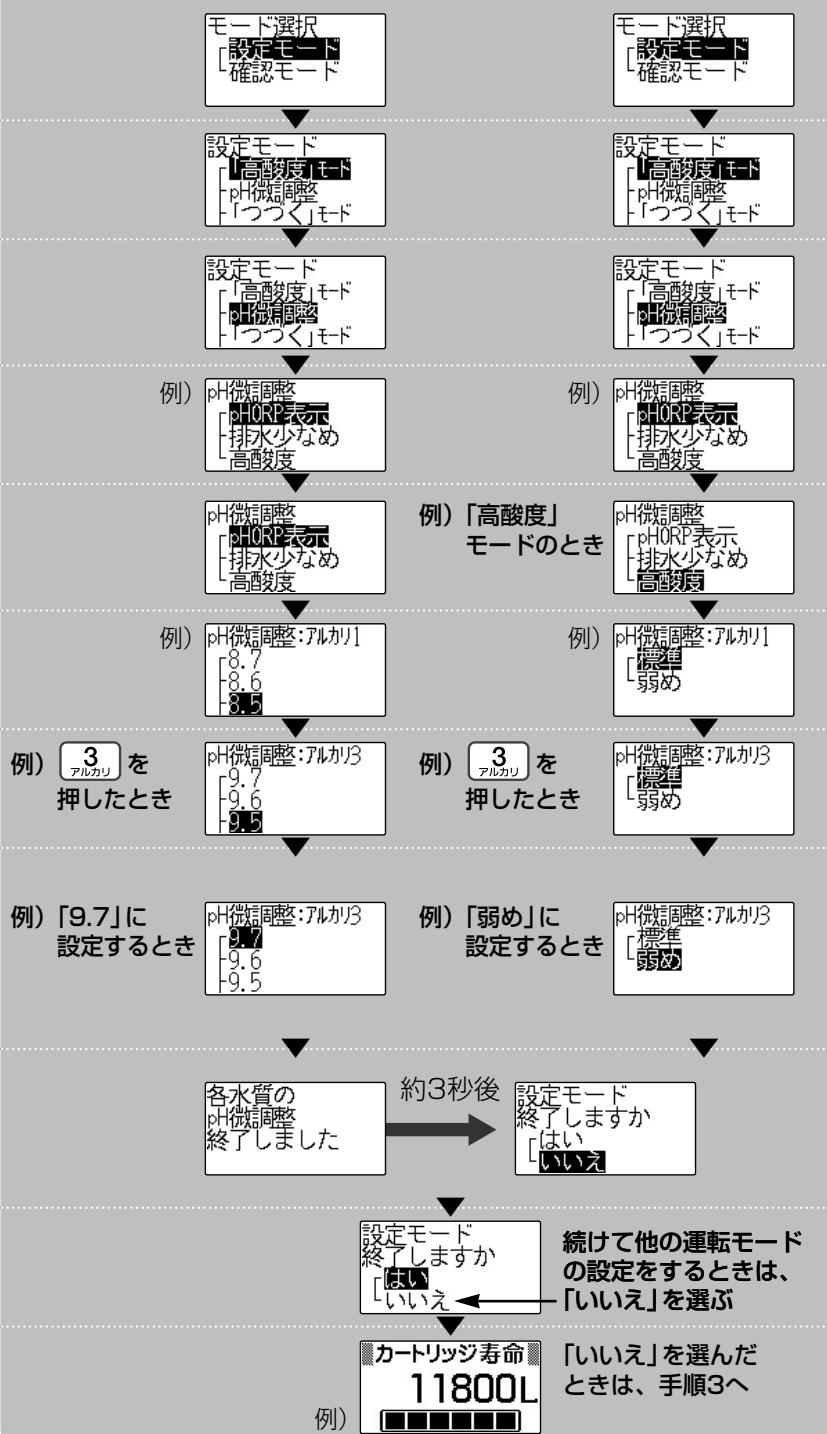
6 決定 **を押す**

7 pH微調整する
水質切替ボタンを押す

8 選択/モード入(1秒押) **を押し、pH微調整の設定を選ぶ**
- pH微調整する水質切替ボタンが複数ある場合は、手順7と8を繰り返す

9 決定 **を押す**〈設定完了〉
- 手順7・8で設定した水質すべてのpH微調整が完了

10 選択/モード入(1秒押) **を押し、「はい」を選ぶ**

11 決定 **を押す**

お知らせ

- 手順5～8 では、設定している運転モードのランプが点滅します。設定完了後は使用していた運転モードランプの点灯に戻ります。
- 手順2～8 で 戻る を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。設定完了後は、戻る を押しても画面は戻りません。

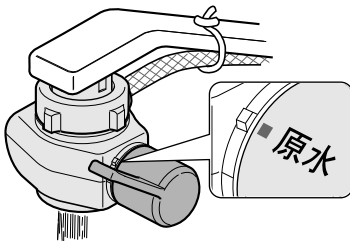
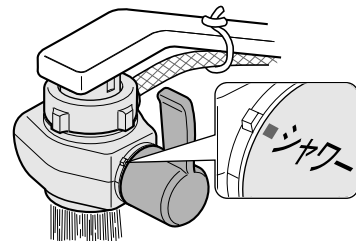
お願い

- pH 微調整の設定が完了したら、pH 試験液で pH を確認してください。（18ページ参照）

原水（水道水）を使う

原水とは水道水そのままの水です。

水切換レバーを「原水」または「シャワー」に切り替えます。

水流が**ストレート**

水流が**シャワー**

水切換レバーについて

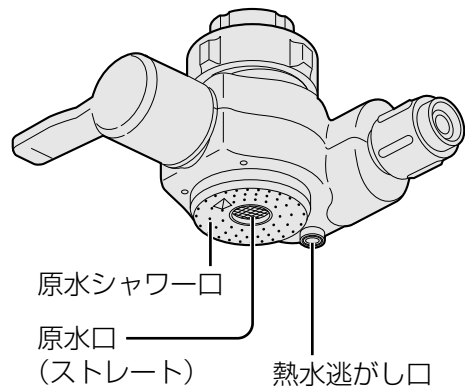
● **誤って本体側に熱水を通した場合、熱水逃がし口より熱水が出ます。**

カートリッジ保護のため、熱水ガード機構（作動温度：約60 ℃以上）が働きます。

・「ビー」と音がすることがありますが、異常ではありません。

➡ **すぐに熱水を止めて、冷却のために水を約0.4リットル（約10秒間）本体に通水してください。**

・しばらくは熱水逃がし口から水が出ますが、異常ではありません。

〔下側から見たとき〕

お願い

● 使うことができる水温は下表の通りです。この温度で使用してください。（故障の原因）

水切換レバーの位置	水　温
浄　　水	35 ℃未満
原　　水	80 ℃未満
シャワー	

⚠ 注意

本体側に60 ℃以上の熱水を通さない

禁　止

やけどの原因になることがあります。

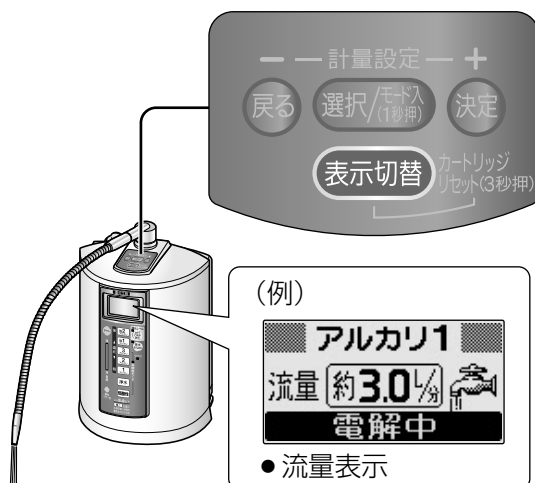
便利に使う

水の流量を見る

通水中に、水の流量（吐水口、酸性水吐水口および排水ホースから1分間に出る水の合計量）を表示し、確認できます。（流量表示）

表示切替 を液晶表示が「流量」になるまで押す

- 1回押すごとに、液晶表示が変わります。
- 止水中または、約1.0 L/分未満の流量では、流量の数値は表示されません。

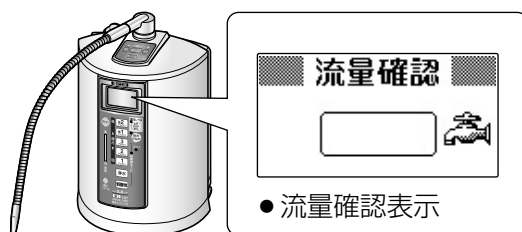
● 流量表示

流量が表示できないときは…

流量が表示できないとき（水圧が低いときなど）は、**流量確認表示**で流量を確認できます。

1 水栓を閉め、ブザーが「ピッ…」と4回鳴るまで

浄水 を押す（約3秒間）

- 再度、約3秒間押すと、元の表示に戻ります。また、水質が前回使った「アルカリ」に自動的に戻ります。

● 流量確認表示

2 水栓を開ける

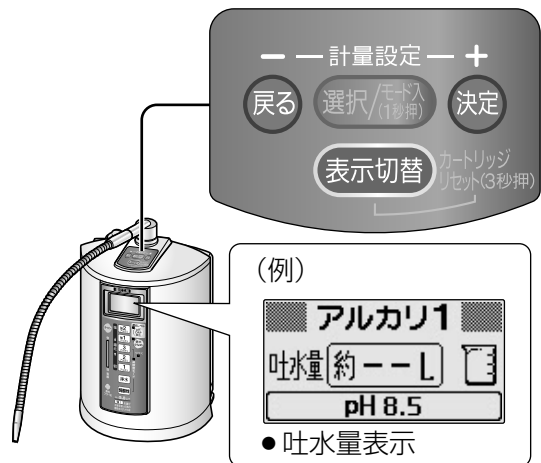
- 水栓を閉めると、元の表示に戻ります。

吐水量を量る

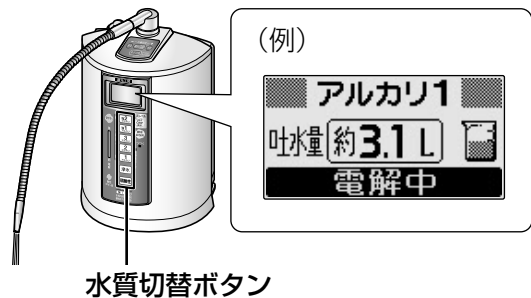
通水するたびに吐水量（吐水口から出る水の量）を積算し、0.1リットル単位で液晶表示に表示します。（吐水量表示）

吐水量を量るには、まず、32ページの手順に従い「吐水口と酸性水吐水口の高低差」を設定されることをおすすめします。（吐水量表示の精度を上げるため）

1 水栓を閉め、
表示切替 を液晶表示が「吐水量」になるまで押す

- 1回押すごとに、液晶表示が変わります。

●吐水量表示

2 使用する水質切替ボタンを押してから、
水栓を開ける

- 「準備中」の表示が消えると、カウントがはじまります。

3 吐水量を量る

- カウント中は、吐水量約0.2リットルごとに、**吐水量ブザー**が「ピッ」と鳴ります。

吐水量ブザーを鳴らしたくないときは…

「設定のしかた」（39ページ）を参照し、「吐水量ブザー」をOFFに設定してください。

4 吐水量表示が量りたい数値になったら、
水栓を閉める

お願い

- 吐水量表示と実際の吐水量に大きな差がある場合は、「吐水量表示の補正」をしてください。（34ページ参照）

■ 量りたい数値になったら、お知らせブザーが鳴るように設定する

1 使用する水質切替ボタンを押す

2 水栓を閉めた状態で、量りたい数値になるまで

- 液晶表示が、「計量設定」画面に変わります。
- 設定できる範囲は、**0.6〜5.0リットル**です。
- 設定できる数値は
  0.6〜2.0リットルでは、**0.2リットル単位**
  2.0〜5.0リットルでは、**0.5リットル単位**
  （右表参照）

設定する範囲	＋	表　示	−	表　示
0.6〜2.0 リットル	一回押すごとに 大きくなる	0.2ずつ 大きくなる	一回押すごとに 小さくなる	0.2ずつ 小さくなる
2.0〜5.0 リットル		0.5ずつ 大きくなる		0.5ずつ 小さくなる

〔設定を中止するときは〕

- 他の操作ボタンまたは水質切替ボタンを押してください。

液晶表示
（例）
0.6リットル

計量設定
吐水量 約0.6L
pH 8.5

※2回目以降は、前回設定した数値を表示します。

3 水栓を開ける

- 「準備中」の表示が消えると、カウントがはじまります。

液晶表示

計　量
吐水量 約0.0L
電解中

▼

吐水量が設定した数値になるとお知らせブザーが「ピー」と鳴る

4 お知らせブザーが「ピー」と鳴ったら 水栓を閉める

- 別売品の電磁弁アダプター（71ページ参照）を設置されている場合は、自動的に水が止まります。〔定量止水機能〕

お知らせ

- 設定した数値を超えても水栓を閉めない場合は、そのままカウントがつづき、吐水量を表示します。この場合、吐水量約0.2リットルごとに、吐水量ブザーが「ピッ」と鳴ります。

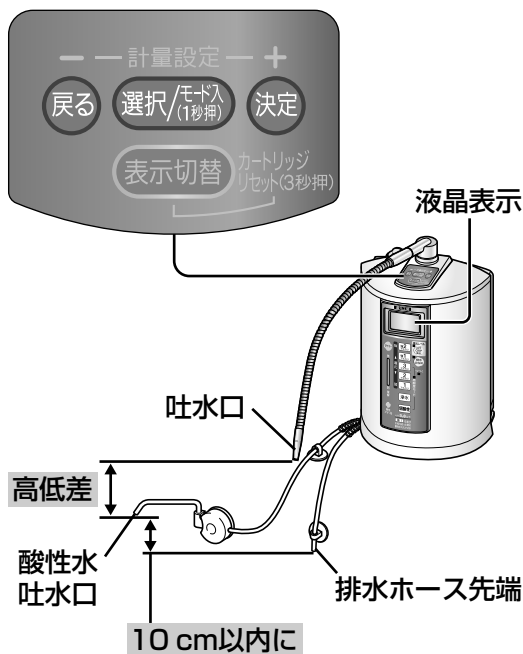
吐水量を量る（つづき）

■ 吐水口と酸性水吐水口の高低差の設定

吐水量表示の精度を高めるため、設定されることをおすすめします。
そのときは、酸性水吐水口と排水ホース先端の高低差を10 cm以内に設置してください。
（下図参照）

設定をされる前に、かならず吐水口と酸性水吐水口の高低差を確認してください。
- 吐水量の誤差を小さくするために、高低差は、10 cm以上50 cm未満で使用してください。

操作パネル

操　作

1 水栓を閉め、操作パネルの

を1秒間押す

2 そのまま、

を押す

3 選択/モード入(1秒押) **を押し、「計量条件設定」を選ぶ**

4 決定 **を押す**
- 「吐水量表示の補正」をする場合は、34ページの手順5へ

5 そのまま、

を押す

6 選択/モード入(1秒押) **を押し、高低差の設定を選ぶ**
- 確認した高低差に合わせて設定する

7 決定 **を押す**

〈設定完了〉

8 選択/モード入(1秒押) **を押し、「はい」を選ぶ**

9 決定 **を押す**

液　晶　表　示

モード選択
設定モード
確認モード

設定モード
「高酸度」モード
pH微調整
「つづく」モード

設定モード
ブザー音量
電解シグナル
計量条件設定

計量条件設定
高低差
補正

高低差
10〜20(cm)
20〜30(cm)
30〜40(cm)

例)「30〜40(cm)」に設定するとき

高低差
10〜20(cm)
20〜30(cm)
30〜40(cm)

高低差
30〜40(cm)に
設定しました

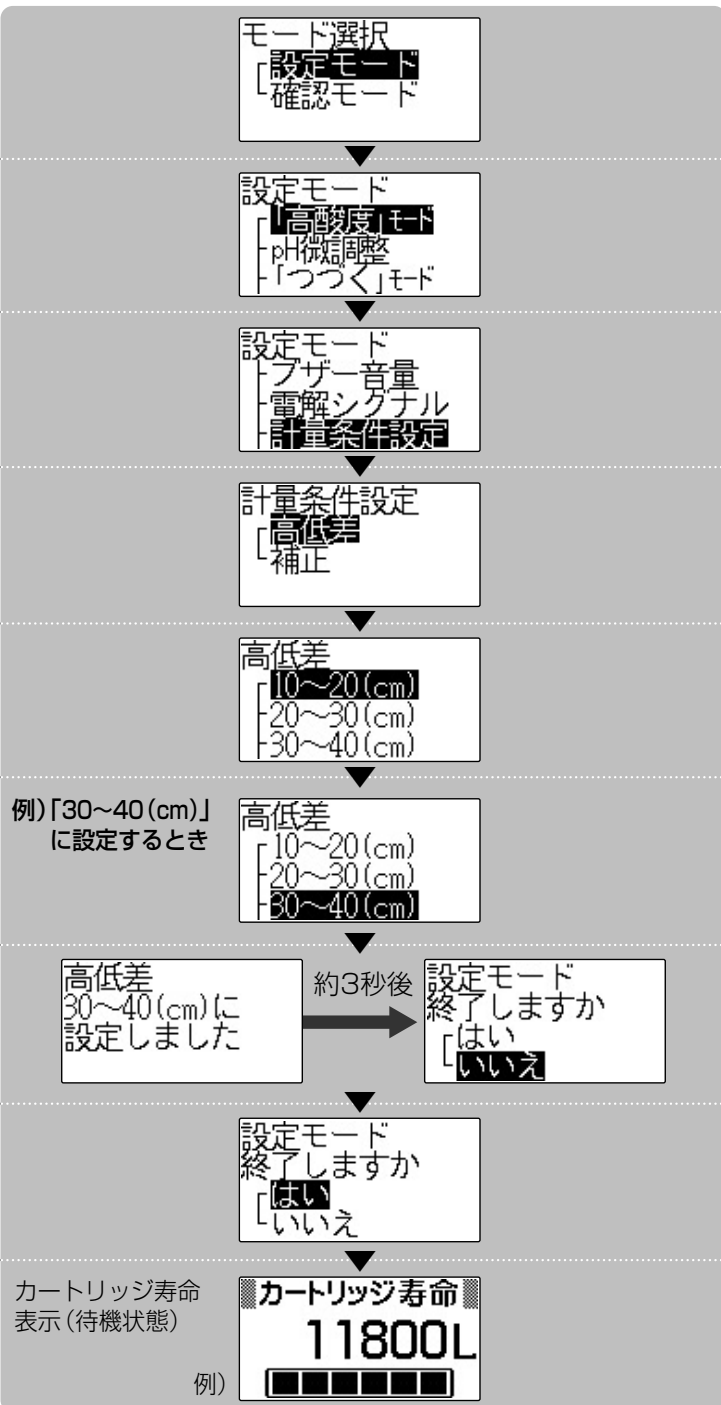
約3秒後

設定モード
終了しますか
はい
いいえ

設定モード
終了しますか
はい
いいえ

カートリッジ寿命表示(待機状態)

カートリッジ寿命
11800L

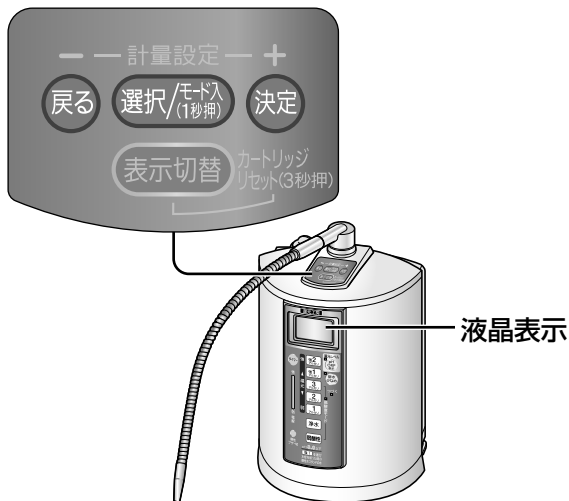
例)

お知らせ

- 手順2〜6 で 戻る を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。
  設定完了後は、戻る を押しても画面は戻りません。
- 一度設定した内容は、再度設定(変更)するまで記憶されます。

吐水量を量る（つづき）

■ 吐水量表示の補正

吐水量表示と実際の吐水量には、多少の差ができます。
（使用状態や水圧などの影響によるものです。）
差が大きい場合は、吐水量表示の補正をしてください。

操作パネル

３２ページ「吐水口と酸性水吐水口の高低差の設定」の**手順1〜4の後に**、下記の操作をしてください。

操　作

5 選択/モード入(1秒押) **を押し、「補正」を選ぶ**

6 決定 **を押す**

7 選択/モード入(1秒押) **を押し、表に従って補正値を選ぶ**

吐水量表示と吐水量の差	補正値
吐水量が20%程度多い	−20％
吐水量が10%程度多い	−10％
差が10%以内	±０％※
吐水量が10%程度少ない	＋10％
吐水量が20%程度少ない	＋20％

※補正なし

8 決定 **を押す**

〈設定完了〉

9 選択/モード入(1秒押) **を押し、「はい」を選ぶ**

10 決定 **を押す**

お知らせ

- 手順5〜7で 戻る を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。
  設定完了後は、戻る を押しても画面は戻りません。
- 一度設定した内容は、再度設定（変更）するまで記憶されます。

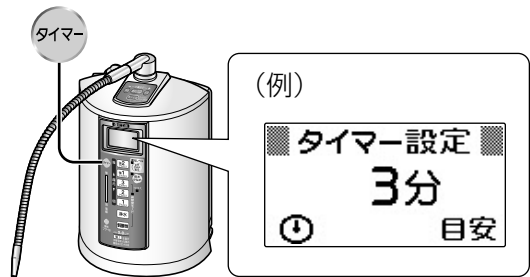
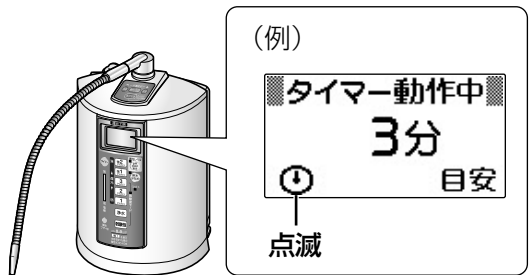
キッチンタイマーを使う

設定した時間になったら、ブザーを鳴らしてお知らせします。（約10秒間）
お料理で時間を計るときなどに便利です。

1 水栓を閉め、

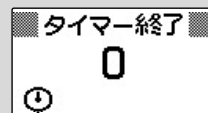
を押して

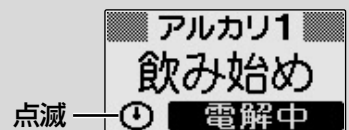
計りたい時間を設定する

- 液晶表示が「タイマー設定」画面に変わります。
- 1回押すごとに、1分ずつ増えます。
- 押し続けると、5分単位で増えます。
- 設定できる範囲は、**1分～60分**です。

ブザーが「ピッピッ」と鳴り、カウントダウンがはじまる

設定した時間になると

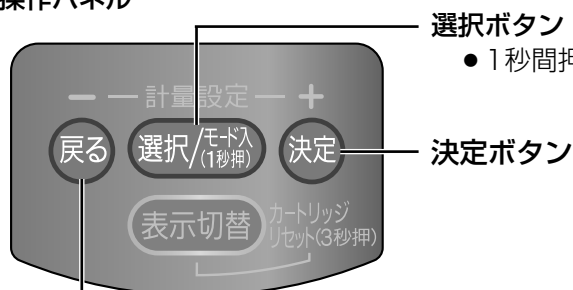
ブザーが「ピッピッピッ…」と鳴る

（約10秒間）

- ブザーをとめるときは、タイマーを押してください。

お知らせ

- **カウントダウン中も、本体は使用できます。**
  （液晶表示は右のようになります。）
- 下記の場合、タイマー設定は解除されます。
  - ・タイマー設定操作中、本体に通水する
  - ・カウントダウン中にタイマーを押す
    ※ 本体に通水しているときは、操作できません。
  - ・「異常表示」が出たとき（61、62ページ参照）
- 残り時間が10秒になると⏀が⏀に変わります。

設定・確認モード

設定・確認モードでは、下表の項目の設定と確認ができます。**（通水中は、操作できません。）**
※お買い上げ時の設定のままでも、ご使用いただけます。

操作パネル

選択ボタン
- 1秒間押すと、設定・確認モードに入ります。

決定ボタン

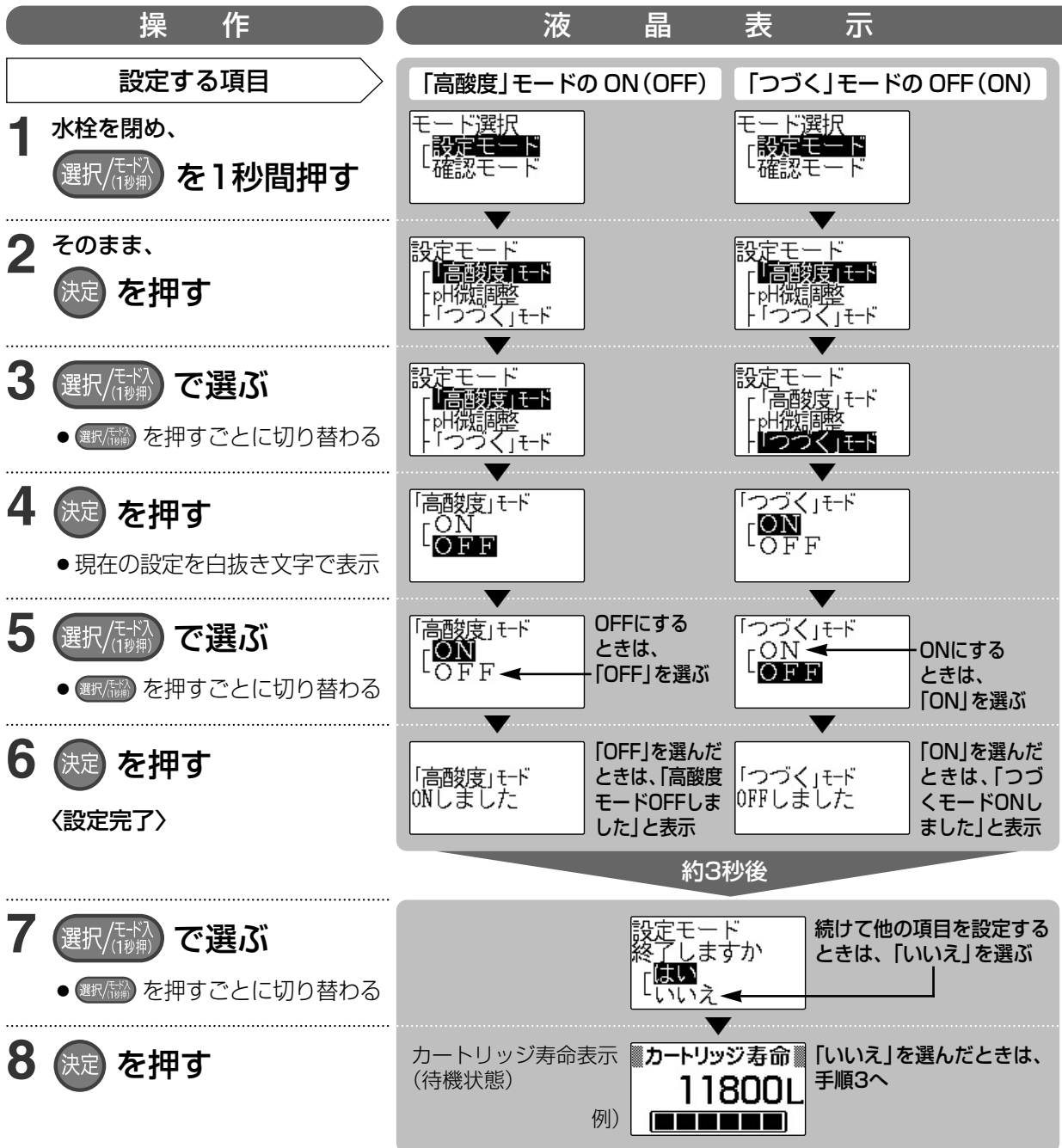
戻るボタン
- 前の画面に戻ります。
  ※設定完了後は、画面は戻りません。

お知らせ
- 下記の場合、設定・確認を中止します。
  - 2分以上ボタン操作をしない
  - 本体に通水する
  - 水質切替ボタンを押す

設定できる項目		設定方法	お買い上げ時の設定
「高酸度」モードのONとOFF	●使用原水（水道水）の酸度が高い場合（25ページ参照）はONに設定してください。	38ページ	OFF
「pH微調整」	●「アルカリ」・「弱酸性」のpHを微調整できます。	26～27ページ	26ページ参照
「つづく」モードのONとOFF	●OFFにすると、「つづく」モードが解除され、つづくランプ（23ページ参照）が点灯しなくなります。	38ページ	ON
「吐水量ブザー」のONとOFF	●OFFにすると、吐水量カウント中のブザー（30ページ参照）が鳴りません。	39ページ	ON
「弱酸性ブザー」のONとOFF	●OFFにすると、弱酸性水使用中のブザーが鳴りません。	39ページ	ON
「アルカリ優先」のONとOFF	●OFFにすると、浄水を使用し水栓を閉めた後、「アルカリ」に戻らなくなります。	39ページ	ON
「ブザー音量」の大・中・小	●ブザーの音量を3段階に調節できます。	40ページ	中
「電解シグナル」のONとOFF	●OFFにすると、電解シグナル（21ページ参照）が点灯しなくなります。	40ページ	ON
「計量条件設定」	●吐水量表示（30ページ参照）の精度を上げるための設定をします。	32～35ページ	—

確認できる項目		確認方法
別売品	●カートリッジの別売品品番が確認できます。	41ページ
設定確認	●設定モードで設定した内容の確認ができます。	41ページ

設定・確認モード（つづき）

■ 設定のしかた（設定できる項目の詳細と、お買い上げ時の設定については37ページを参照）

お知らせ ●手順2～5 で 戻る を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。
設定完了後は、 戻る を押しても画面は戻りません。

便利に使う（つづき）

次ページにつづく

設定・確認モード（つづき）

■ 設定のしかた（設定できる項目の詳細と、お買い上げ時の設定については37ページを参照）

お知らせ ● 手順2～5 で 戻る を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。
設定完了後は、戻る を押しても画面は戻りません。

■ 確認のしかた（確認できる項目の詳細については37ページを参照）

（確認できる項目の詳細については37ページを参照）

お知らせ ●手順2～6 で 戻る を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。
手順7以降は、戻る を押しても画面は戻りません。

カルシウムを添加する（指定のpH が得られないとき）

pH を測定し（18ページ参照）、「pH の目安」の範囲内に入らない場合は、グリセロリン酸カルシウム製剤（カルシウム）を添加してください。
※ カルシウムの摂取を目的としたものではありません。

■ 添加のしかた（機器内部が不衛生にならないよう、清潔な手で添加してください。）

1 水栓を閉め、カルシウムキャップを左に回し、
カルシウム添加筒を取り出す（右図参照）

2 キャップをはずし、
添加筒とキャップの内側を水で洗う（水を振り切る）

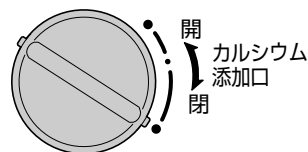
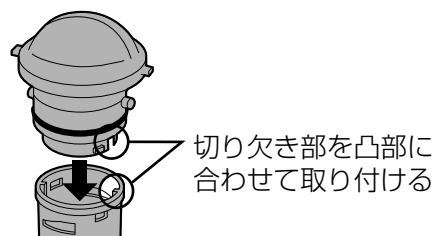
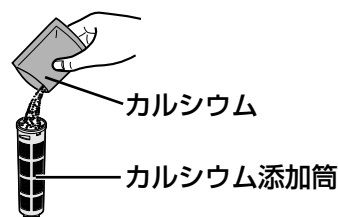
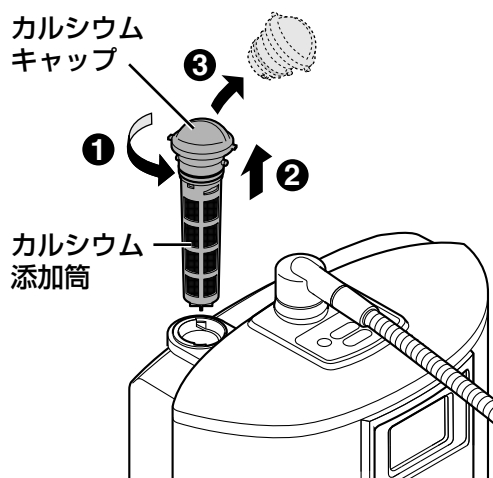
- 水切換レバーを「原水」または「シャワー」に切り替えてから、洗ってください。
- 補充の際に、添加筒内やキャップの内側にカルシウムが残っている場合は、水をかけながら、はしなどを使ってきれいに取り除いてください。
  （残っているものは、カルシウムが流出した後の残留物です。）
- 添加筒の網を破らないように注意してください。
- キャップは、洗剤･アルコールなどで洗わないでください。（回りにくくなります。）

3 **カルシウム1袋**（6 g）**を添加筒に入れる**

- **カルシウムを、本体に直接入れないでください。**
  （故障の原因）

4 **添加筒にキャップを取り付ける**

5 **添加筒を本体に取り付ける**

- キャップは **閉** の位置まで確実に締めてください。
  （キャップを取り付けずに通水すると、水があふれます。）

- 長期間（目安：約1週間以上）使用しないときは、残っているカルシウムはきれいに取り除いてください。

お知らせ

- **添加筒が不衛生になると、カビが発生することがあります。**
- カルシウムは、アルカリイオン水、弱酸性水、浄水のすべてに添加されます。

電極自動洗浄について

本体内の電極板に付着したカルシウム分を自動的に取り除きます。

弱酸性水を使用したあと ▶ 水栓を閉めると ▶

アルカリイオン水または弱酸性水を10回使用ごとに ▶

アルカリイオン水または弱酸性水の総通水量が約10リットルごとに ▶

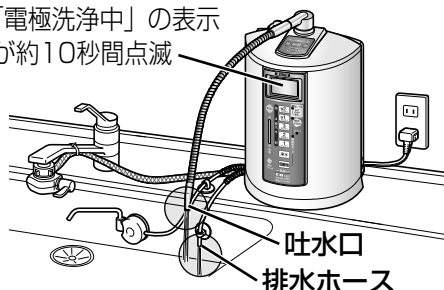
水栓を閉めると
※つづくランプ点灯中は、ランプが消灯したら ▶

最大約50秒間、電極自動洗浄をします。
液晶表示に「電極洗浄中」の表示が点滅

- **排水ホースより水が出ますが、使用しないでください。**
- 電極自動洗浄中は、通水しないでください。

※キッチンタイマー使用中の場合、電極自動洗浄はしません。

24時間以上使用しなかったとき ▶ アルカリイオン水または浄水を**通水すると、** ▶

約15秒間、電極自動洗浄をします。
ブザーが「ピッピッ…」と約3秒間鳴る

- **電極自動洗浄が終了するまで、止水しないでください。**
- **このとき吐水口や排水ホースから出てくる水は使用しないでください。**
ブザーが「ピッピッピッ」と3回鳴ってから使用してください。

お知らせ

- 「電極洗浄中」の表示は、電極洗浄中に吐水口から出ている水が、洗浄した水であることをお知らせするものです。
- 電極自動洗浄中に吐水口から水が「ポタ、ポタ」と落ちることがありますが、異常ではありません。
- 「電極洗浄中」表示の点滅が終わっても、排水ホースから水が出ることがあります。
- つづくランプが点灯中は、電極自動洗浄をしません。

停電・断水したときには

■ 停 電 時

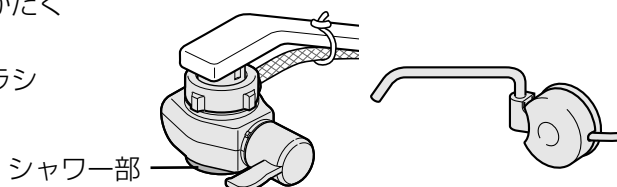
- 使用中に停電したときは水栓を閉めてください。
- 通水すると「浄水」が出てきます。
- 通電後は通常通りに使用できます。
（通電後は「アルカリ1（飲み始め）」に自動的に戻ります。）
- 停電しても、設定モードで設定した内容は取り消されません。

■ 断 水 時

- 使用できません。
- 使用中に断水したときは水栓を閉めてください。
- 断水が解除されたときは水切換レバーを「原水」または「シャワー」にして、まず原水（水道水）を流し、配管内の空気や濁った水を流し出してください。その後は、通常通りに使用されても問題ありません。
（空気や濁った水を本体に通水すると、カートリッジの寿命が大幅に短くなるため）

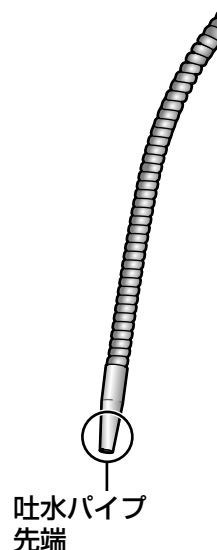
お手入れ

本体・水切換レバー・酸性水スタンド

- 柔らかい布に水を含ませ、かたく絞ってふいてください。
- シャワー部の汚れは、歯ブラシなどで取り除いてください。

カルシウム添加筒・本体通水路

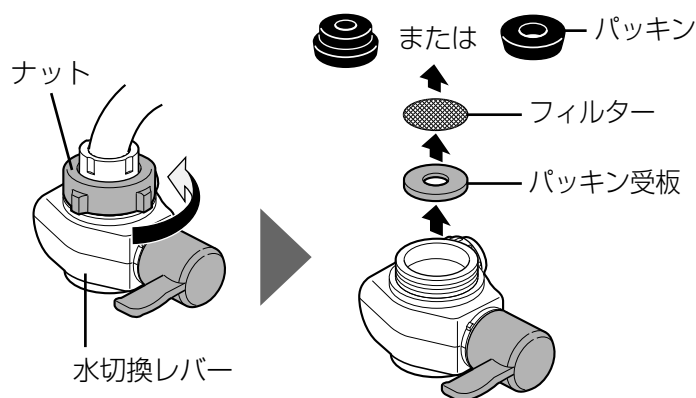
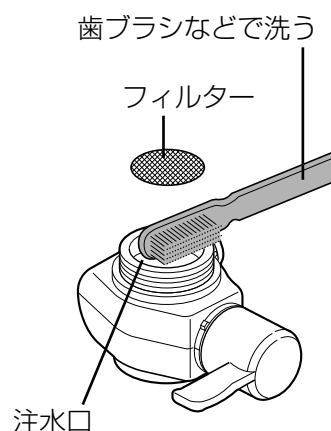
- 吐水パイプ先端の汚れは、綿棒などで取り除いてください。
- 添加筒および吐水パイプ内部の汚れや、においが気になる、またはカートリッジを交換しても、においやいやな味がとれない場合は、別売品の「通水路洗浄剤」で洗浄してください。定期的に洗浄されると、より効果的です。（71ページ参照）

  ※ **カルシウム添加筒は、機器内部が不衛生にならないよう清潔な手で扱ってください。**
- 水質の硬度が高い地域では、通水路にカルシウムが付着することがあります。1年に1回程度、別売品の「本体洗浄用カートリッジ」で洗浄してください。（71ページ参照）

  ※ クエン酸により、本体内に付着したカルシウムを除去します。
  （本体内をきれいにし、電解能力を保つ効果があります。）

水切換レバー取付口のフィルターに、ごみなどが詰まると水量が少なくなります。
1年に1回程度、下記の手順で清掃してください。

水切換レバー取付口（フィルター、注水口）

1 ナットをゆるめ、水切換レバーをはずし フィルターを取り出す

- 水切換レバーは「浄水」にしてください。

2 フィルターと注水口を洗う

本体に水をかけたり、洗ったりしない

水ぬれ禁止

漏電・感電・故障の原因になることがあります。

お願い

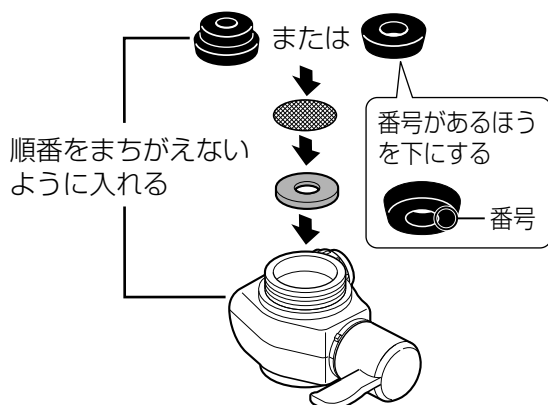
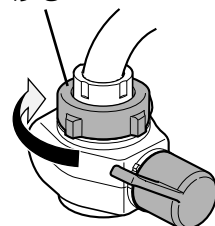
- **洗剤・クレンザー・シンナー・ベンジン・アルコール・灯油などは使わないでください。まちがって使用したときは、すぐ水ぶきをし、表面の洗剤などを取り除いてください。**

  （洗剤が通水に混じる、メッキ部のきず、メッキのはがれ、樹脂の割れ・変色・変形の原因）

  ※クレンザー類を使用すると、吐水パイプの動きが悪くなり、故障の原因になることがあります。
- 金属製のブラシなどは使わないでください。（きずの原因）
- ナットを締めつけるときは、工具を使わないでください。（ナット破損の原因）

3 水切換レバーを取り付ける

- フィルターを必ず取り付けてください。
- **取り付け後、「原水」または「シャワー」で約5秒間水を流してください。**

お手入れ

カートリッジを交換する前に

交換表示について

通水量を積算し、液晶表示にカートリッジ寿命を表示します。交換の目安にしてください。

- カートリッジ寿命（12 000リットル）は、標準的な水質・水圧による試験（家庭用浄水器試験方法：JIS S 3201）での数値であり、一般の水道水では水質（濁り、鉄サビなど）・水圧により、目詰まりの時期に大幅な差が出ることがあります。

液晶表示

（例）

カートリッジ寿命表示

- カートリッジの交換目安となる総通水量までの残量を、1リットル単位で表示します。
  ※ 数値は、通水するごとに減っていきます。
- 「150 L」以下になると、「カートリッジ寿命が近づいています」の表示がでます。
  交換用カートリッジを準備してください。

インジケーター

- カートリッジ寿命が減るにしたがって、「■」が左から「□」に変わっていきます。

交換時期について

液晶表示に下記の表示が出たらカートリッジを交換してください。

表　示（交互表示）	内　　容
U25 カートリッジ 寿命（目詰まり） ⇔ 約2秒 ⇔ カートリッジを交換して［表示切替］を約 3秒間押してください	**目詰まりによるカートリッジの寿命です。** ※通水すると、液晶表示が「流量」に変わります。
U26 カートリッジ 寿命 ⇔ 約2秒 ⇔ カートリッジを交換して［表示切替］を約 3秒間押してください	**総通水量が12 000リットルになりました。**

■「U25」または「U26」を表示しなくても、次のような場合は交換をしてください。

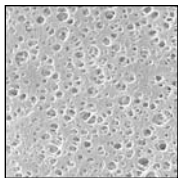
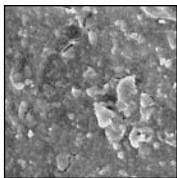
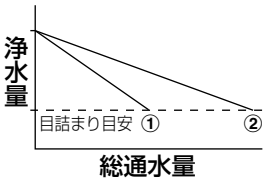
● **においやいやな味がするとき**（カートリッジの除去能力の低下）

■ カートリッジ交換の目安となる年月を経過した場合は交換をおすすめします。

〔交換用カートリッジ　品番：TK7815C1〕（71ページ参照）

交換目安	1日 30リットル使用したとき　約1年
	1日 15リットル使用したとき　約2年
除去できる物質	遊離残留塩素・濁り・総トリハロメタン・クロロホルム・ ブロモジクロロメタン・ジブロモクロロメタン・ブロモホルム・ テトラクロロエチレン・トリクロロエチレン・ 1,1,1-トリクロロエタン・CAT（農薬）・2−MIB（カビ臭）・溶解性鉛

■ 水質による使用期間の違いについて

カートリッジには、細かな汚れを除去するために、中空糸膜フィルターが内蔵されていますので、目詰まり物質が多い水質では使用期間が短くなります。

中空糸膜表面
（新品時）

目詰まりした
中空糸膜表面

① 目詰まり物質の多い水質
② 標準的な水質

カートリッジを交換する前に

お知らせ

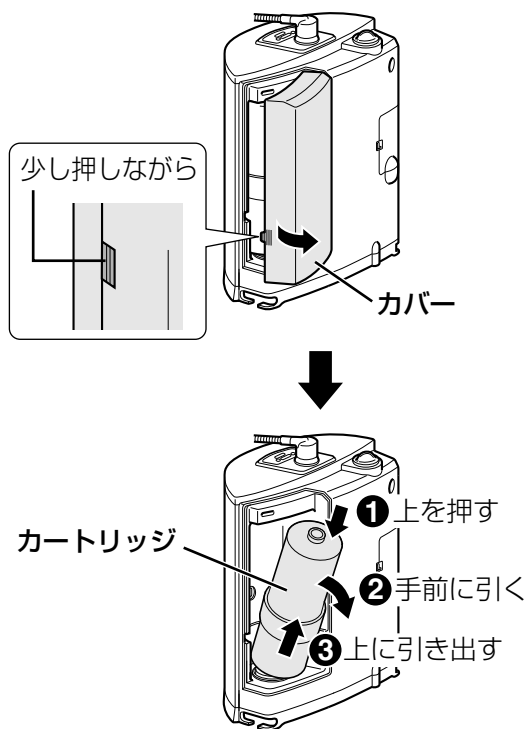
● **次の場合、吐水量が少なくなることがあります。**
- ・水温が低い場合（カートリッジに水が通りにくくなるため）
- ・水圧が低い地域（70 kPa以下）で使用した場合
- ・地域の水道使用状況により、水道水圧が低下した場合
- ・水道工事の直後など、断水していた場合

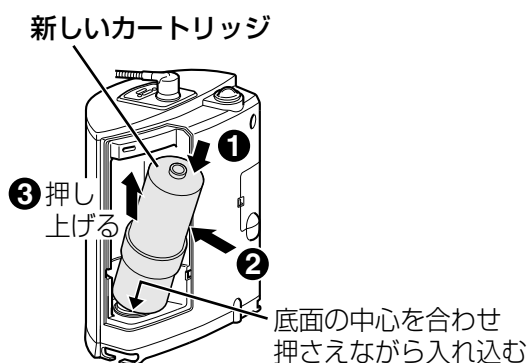
カートリッジを交換する

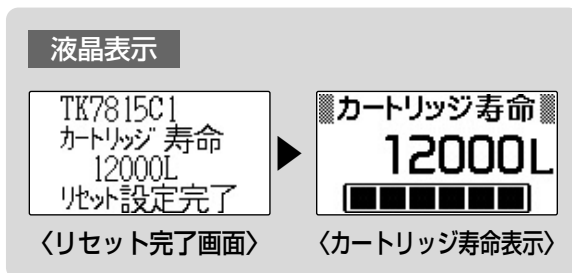
- **電源プラグは抜かずに、交換してください。**
  〔電源プラグを抜くと、カートリッジ寿命のリセットができません。〕
- **水栓を閉めてから交換してください。カートリッジをはずした状態で通水しないでください。**（水があふれ出るため）

1 カバーを取りはずし、カートリッジを取りはずす

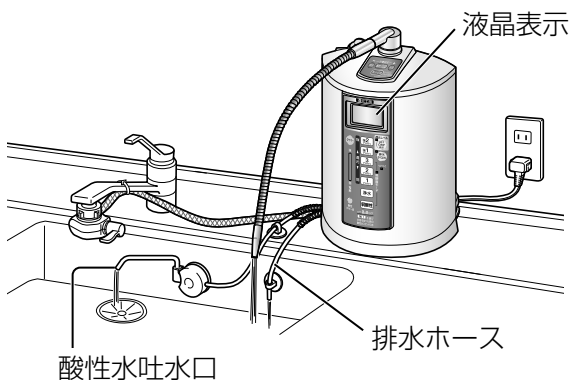
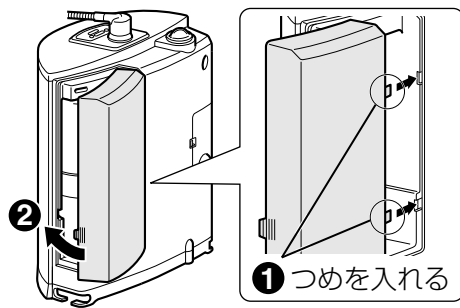
- カートリッジから水が落ちますので、注意してください。この水が本体の底面から出てくることがあります。（水漏れではありません。）

- **カートリッジをはずすときに、本体を倒さないでください。また、はずした状態で、本体を倒したり、逆さまにしたりしないでください。**
  （機器内部に水が入り、故障の原因）

2 新しいカートリッジを取り付ける

- **取り付けたあと、カートリッジを押し上げてください。**

3 表示切替 カートリッジリセット(3秒押) を押す（約3秒間）

- 〈リセット完了画面〉を表示し、**約3秒後**、〈カートリッジ寿命表示〉になります。
- **右記を参照し、カートリッジ寿命が正しくリセットされているか確認してください。**

4 水栓を開き、本体にアルカリイオン水を通水する（約3〜4分間）

- 通水すると液晶表示に「準備中」が約20秒間点滅します。
- カートリッジ取付部から水漏れがないことと、酸性水吐水口から水が出ていることを確認してください。
- 「pH/ORP表示」モードのときは、排水ホースからも水が出ていることを確認してください。

（「準備中」が点滅中は、酸性水吐水口および排水ホースから水は出ません。）

5 水栓を閉め、カバーを取り付ける

お願い

- **使用済みのカートリッジは、地域で定められた条例に従って廃棄してください。**
- カートリッジ寿命を正しく表示するため、必ず手順3で**カートリッジ寿命をリセット**してください。

お知らせ

- カートリッジ交換後、アルカリイオン水をコップに注ぐと白い泡がつくことがありますが、異常ではありません。（59ページ参照）

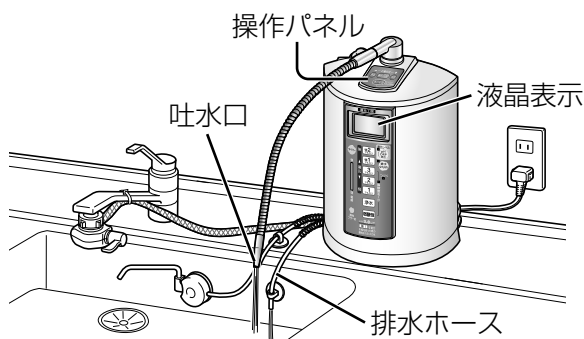
pHの測定機能を調節する（pH校正）

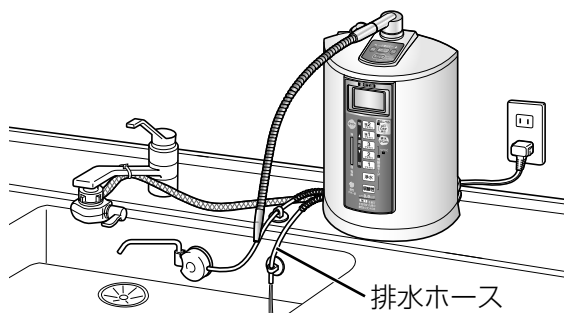
pH校正は、pHセンサーの機能を維持し、正確なpHを測るために必要です。
設置直後はpH校正の必要はありません。（工場出荷時にpH校正済）
液晶表示に**「pH校正を行ってください」**の表示が出たら、pH校正をしてください。（約1年6ヵ月に1回）

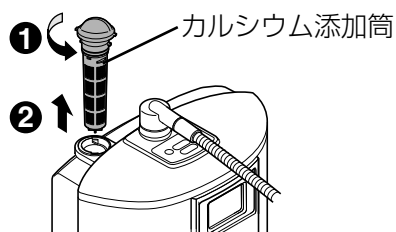
準備するもの：pH センサー校正液セット（付属品）

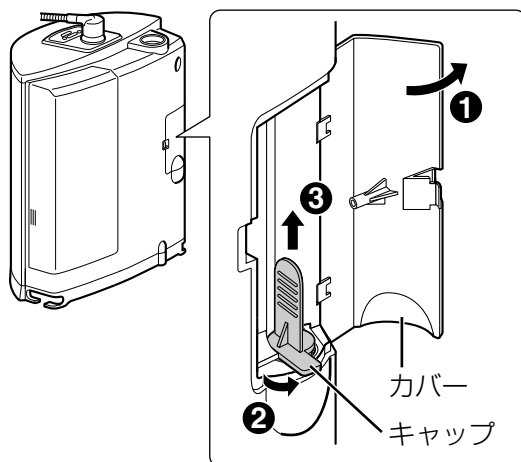
はじめに、下記の操作で「pH 校正」モードにしてください。「pH 校正」モードに入ると、液晶表示にpH 校正の手順が表示されますので、表示に従ってpH 校正をしてください。

操作	液晶表示
1 操作パネルの 選択/モード入(1秒押) を1秒間押す ● ブザーが「ピッ」と鳴るまで押してください。	モード選択 設定モード 確認モード
2 そのまま、決定 を押す	設定モード 「高酸度」モード pH微調整 「つづく」モード
3 選択/モード入(1秒押) で「pH校正」を選び、決定 を押す	設定モード pH校正 終了 → pH校正しますか はい いいえ
4 選択/モード入(1秒押) で「はい」を選び、決定 を押す	pH校正しますか はい いいえ → pH校正［手順1］ 水栓を開け 本体に通水して ください

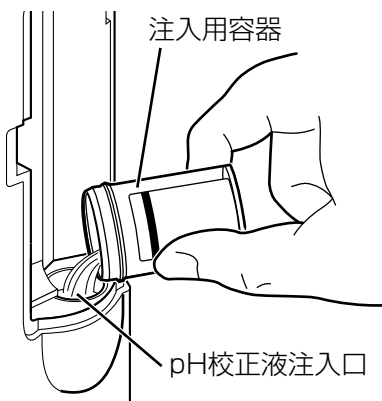
1 水栓を開き、本体に通水する
（約60秒間）

2 水栓を閉める

● 約40秒間、排水ホースから水が出ます。

3 カルシウム添加筒を取り出し、

● 約20秒間、排水ホースから水が出ます。

4 pH校正液注入口の カバーとキャップを取りはずし、

● 約20秒間、排水ホースから水が出ます。

5 pH校正液注入口から、 pH校正液を注入し、

決定 を押す

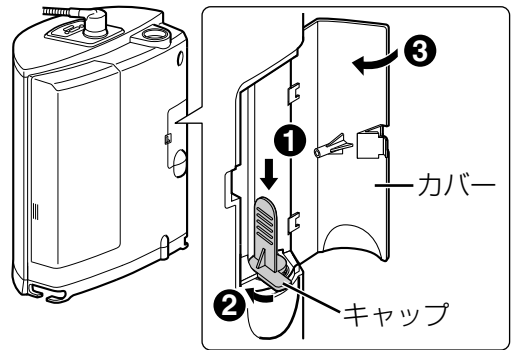
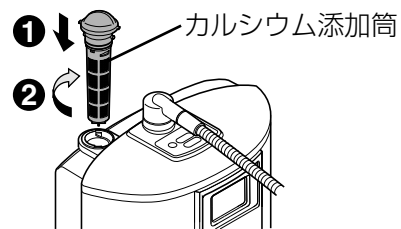
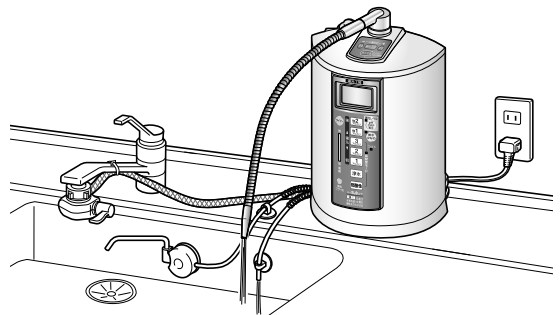
● 約60秒間、pH校正をします。
● pH校正液が注入口からあふれ出さないよう、ゆっくりと注入してください。
● pH校正液は注入用容器のラインまで入れてください。

お願い

● 液晶表示に「U24」が出たときは

 を押してください。

約20秒間、排水ホースから水が出ます。
その後、手順「5」をやり直してください。

次ページにつづく

6 pH校正液注入口の
カバーとキャップを取り付け、
 を押す

7 添加筒を本体に取り付け、
 を押す

8 水栓を開き、本体に通水する
（約30秒間）

9 水栓を閉める

10 選択/モード入(1秒押) で「はい」を選び、
決定 を押す

お願い

- 通水中はpH校正液注入口のキャップを開けないでください。（水があふれるため）
- 指定のpH校正液以外は入れないでください。（故障の原因）
- 使用した注入用容器は、水で内部をすすいで保管してください。
- pH校正液を捨てるときは、水で薄めて下水に流してください。

お知らせ

- **pH校正液は排水ホースから排水されますので、吐水には混入しません。**
- **pH校正液の成分は次のとおりです。**
  - ・リン酸二水素カリウム
  - ・リン酸水素二カリウム
  - ・防腐剤：Sodium Azide（アジ化ナトリウム） 0.1%未満
- 「pH校正を行ってください」の表示が出たまま使用すると、正確なpHが得られない場合があります。

⚠注意

pH校正液は、飲んだり、目に入れたり、身体につけたりしない（特にお子様にはご注意ください。）

禁　止

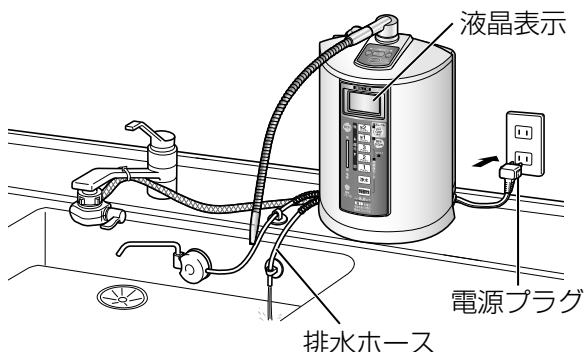
手や肌があれたり、体調を損なうことがあります。

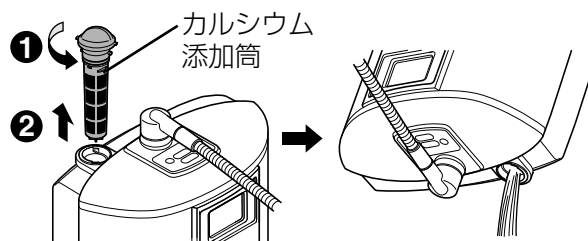
- もし誤って飲んだ場合は、水を多量に飲んでから吐き、目に入れた場合は十分に水洗いをしてから、医師に相談してください。
- 身体にかかった場合は、水で十分に洗い流してください。
- 必ずフタをして、乳幼児の手の届かないところに保管してください。

本体を移設するときには

下記の手順で、本体の水抜きをしてください。

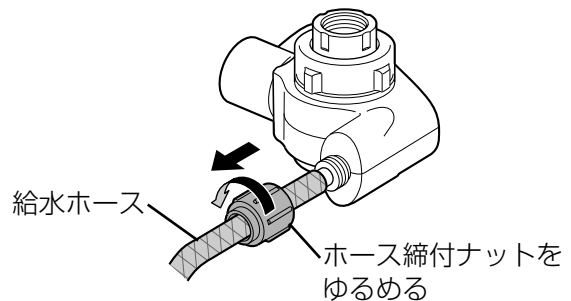
1 電源プラグを抜き、再度差し込む

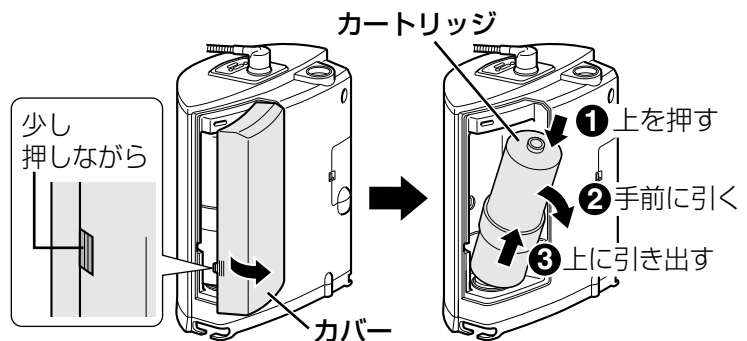
- 液晶表示に約15秒間「準備中」が点滅し、排水ホースから水が出ます。
- **この動作を2～3回繰り返し、電源プラグを抜いてください。**

2 カルシウム添加筒をはずし、本体を逆さまにして内部の水を排水する

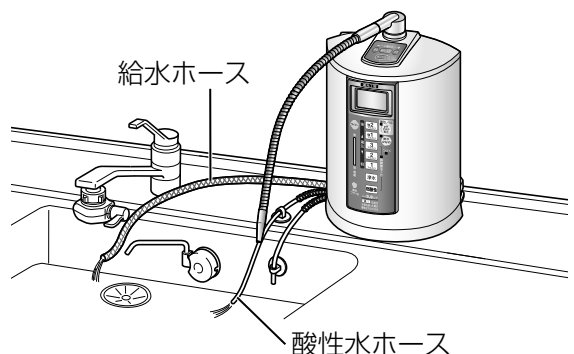
- 添加筒内にカルシウムが残っている場合は、きれいに取り除いてください。

次ページにつづく

本体を移設するときには（つづき）

3 水切換レバーから 給水ホースを取りはずす

- 給水ホースをはずした後、ホース締付ナットは水切換レバーに元どおり取り付けてください。
（ホース締付ナットの紛失を防止するため）
- 水切換レバー内の水は、出してください。

4 カートリッジを取りはずす

- **カートリッジをはずすときに、本体を倒さないでください。また、はずした状態で、本体を倒したり、逆さまにしたりしないでください。**
（機器内部に水が入り、故障の原因）

5 給水ホース先端を本体より低い位置に置いて ホース内の水を排水する

- 酸性水ホースを酸性水スタンドから取りはずし、本体より低い位置に置いてください。
- **取りはずした添加筒とカートリッジは、もとに戻してください。**

6 水切換レバーを取りはずす

- **ナットを固く締めつけた後、水切換レバーごと回転させると、はずれやすくなります。**
※ はずれないときは、プライヤーなどの工具を使用してください。

お願い

- この方法でも十分に水抜きされていないことがありますので、輸送時には水漏れを考慮して包装してください。

お使いになる前に

Q グリセロリン酸カルシウム製剤は、必ず添加しないといけないのでしょうか？

A pHを測定してください。(18ページ参照)pHが「pHの目安」の範囲内に入っていれば、添加する必要はありません。

範囲内に入らない場合は、グリセロリン酸カルシウム製剤を添加してください。pHが0.1～0.3程度上がります。なお、これはカルシウムの摂取を目的としたものではありません。

Q グリセロリン酸カルシウム製剤とはどういうものですか？

A グリセロリン酸カルシウム製剤は、食品添加物として認められているもので、飲んでも問題ありません。

Q 地下水は使用できないのですか？

A 使用できない場合があります。

地域・水質によっては、指定のpHが得られないことがあります。特に地下水を水源とした地域では、設置前にpHが得られるかを確認するため、酸度測定試薬による酸度の測定を販売店にご相談ください。

Q 使用原水（水道水）の性質別の使用上のポイントは？

A 下表を参考にしてください。

ただし、炭酸を多く含んだ水では、アルカリ性を示さない場合があります。
この場合アルカリイオン水を沸騰させると炭酸が抜け、本来のアルカリ性を示します。
また※硬度の高い水の場合は白くにごることがあります。

- 特に地下水や地下水を含んだ水源ではアルカリ性になりにくいため、「設定のしかた」(38ページ)を参照し、「高酸度」モードをONに設定してお使いください。

	海辺や島	温泉地	炭酸を多く含んだ水（地下水）	硬度の低い水	硬度の高い水
原水の性質	塩水が混入している場合がある	イオウ分が含まれており、酸性傾向	炭酸ガスが混入しており、酸性傾向 ミネラル分が多く電気が流れやすい	ミネラル分が少なく電気が流れにくい	ミネラル分が多く電気が流れやすい
電気分解されたアルカリイオン水の性質は？	アルカリ性になりやすい	硫酸イオンの働きでアルカリイオン水が中性傾向に	炭酸ガスによってアルカリイオン水が中性傾向に	アルカリ性になりにくい	アルカリ性になりやすい
アルカリイオン水ご使用上のポイント	弱めのアルカリを使う	①「アルカリ」のpHを微調整する（26ページ参照） ②グリセロリン酸カルシウム製剤を添加する（42ページ参照） ③「高酸度」モードをONに設定する（38ページ参照）			弱めのアルカリを使う

※ **硬度**：水に含まれるカルシウムやマグネシウムの濃度で、この濃度により、硬度の高い水・低い水になります。

次ページにつづく

Q&A（ご質問にお答えします。）（つづき）

使用するにあたって

Q 間違えて酸性水を飲んでしまったのですが、大丈夫でしょうか？

A 少量（コップ一杯程度）なら、心配ありません。
ただし、継続的な飲用はしないでください。
また、誤って多量に飲んで体調が悪くなったときは、医師にご相談ください。

Q 鉛（溶解性鉛）は除去できないのですか？

A 除去できます。

Q 長期間（目安：約1週間以上）使用しないときは、どうするのですか？

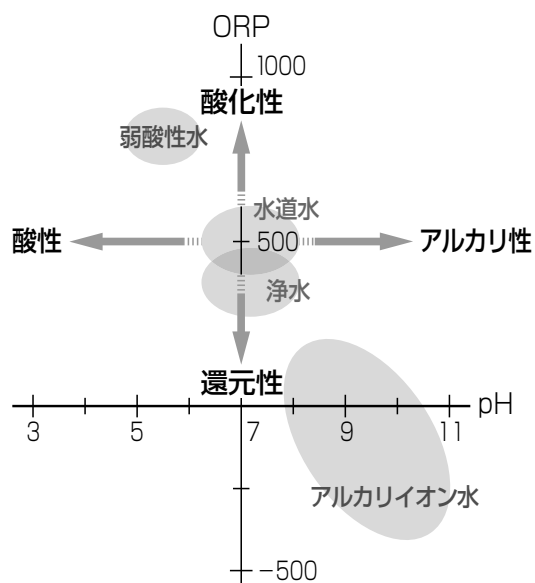
A
- カルシウム添加筒に残っているカルシウムを取り除いてください。
- カートリッジは本体から取りはずしてビニール袋に入れ、空気を抜いて口を閉じてから冷蔵庫に保管してください。
- 電源プラグを抜いてください。
- 再使用するときは、カートリッジを取り付けた後、電源プラグを差し込み、約3分間通水し水漏れがないか、また動作や表示に異常がないかを確認してください。
1ヵ月以上使用しない場合は、カートリッジ内の水が変質することがありますので、カートリッジの交換をおすすめします。
また、においやいやな味がするときは、別売品の「通水路洗浄剤」で（71ページ参照）洗浄してください。

Q 「還元レベル」とは何でしょうか？

A 生成したアルカリイオン水の還元電解された度合いで、「pH」と「ORP」で表します。詳しくは、下記のとおりです。

- **水の「pH」とは**
水中の水素イオン量を表し、pH7が「中性」、pH7より大きい値が「アルカリ性」、小さい値が「酸性」です。

- **水の「ORP」とは**
水が「ものを酸化させる電気的エネルギーを持っているか」、「ものを還元する電気的エネルギーを持っているか」を表します。
また、ORPは温度や電気分解後の時間経過によって大きく変動します。
  - ・ORPが浄水に比べてプラス側の水は、ものを酸化させる性質を持ち、プラス値が高いほど酸化させる力が強くなります。
  - ・ORPが浄水に比べてマイナス側の水は、酸化したものを元に戻す（還元する）性質を持ち、マイナス値が低いほど還元する力が強くなります。

- **「pH」と「ORP」の関係は**
「アルカリ性」が強くなるほど還元する力が強くなり、「酸性」が強くなるほど、酸化させる力が強くなります。
※数値は目安ですので、地域・水質により異なります。

パナソニックのホームページ http://panasonic.jp/ の「アルカリイオン整水器」でも、ご覧いただけます。

Q カルシウムの補充周期は？

A 水質・水温・使用条件などによって異なりますが、目安として約7日間（1日30リットル使用した場合）**です。**

連続通水した場合などは、カルシウムの溶けかたが早くなることがあります。また、使用水量が少なく、カルシウムが残っている場合は、1ヵ月以内に取り除き、よく洗ってから新しいカルシウムを入れてください。

Q 使用しないときも電源は入れておくのですか？

A 使用しないときでも電源は入れたままにしてください。

電極自動洗浄をするためです。また、電源を入れずに使用すると、通水量が積算されないため、カートリッジ寿命が正しく表示されません。
※ 待機時の消費電力は約0.7 Wです。

Q 吐水口から出る水と排水は、どれくらいの比率で出ているのですか？

A 比率の目安は、「アルカリ3」で使用する場合、下記のようになりますが、測りかたに注意してください。

「pH/ORP表示」モードで　3：1
「排水少なめ」モードで　8：1
「高酸度」モードで　2：1

水が各々出ている状態で同じ容器に同じ時間だけ受けて比べてください。

- 出始めは酸性水吐水口からの水が若干多くなります。
- 止水後は、本体内の水が抜けるため、酸性水吐水口側に多めの水がたまります。
- 流量が少ない場合、酸性水吐水口からの水が若干多くなります。

Q アルカリイオン水・弱酸性水使用中に、酸性水吐水口または排水ホースから水が出ないのは？

A 酸性水ホースまたは排水ホースが、折れているか、つぶれています。

酸性水吐水口または排水ホースから水が出ない状態で使用すると、故障の原因になります。また、正しく電気分解できませんので、酸性水ホース、排水ホースを点検し、水が出る状態に設置しなおしてください。

Q 何 ℃のお湯まで通していいのですか？

A 本体は35 ℃未満、水切換レバーは80 ℃未満です。（28ページ参照）

Q 使い始めにくらべてpHが上がりにくくなったのですが、どうしてでしょうか？

A 本体内にカルシウム分が付着し、電解能力が低下したためです。

別売品の「本体洗浄用カートリッジ」（71ページ参照）での洗浄をおすすめします。

Q 使い始めにくらべてカルシウムが溶けにくくなったのですが、どうしてでしょうか？

A 原因として、カルシウム付着による通水路の詰まりが考えられます。

別売品の「本体洗浄用カートリッジ」（71ページ参照）での洗浄をおすすめします。

Q 交換目安より早く液晶表示に「U25」（目詰まりによるカートリッジ寿命）表示が出ましたが、どうしてでしょうか？

A 「U25」は通水量や通水圧力が低下した場合にも表示します。（46、47ページ参照）

水圧低下による通水量不足や、ホースに折れやつぶれがないか確認してください。また、水質によっては早期に目詰まりすることがありますので、その時はカートリッジを交換してください。

Q 総トリハロメタンとは、どういうものですか？

A クロロホルム、ブロモジクロロメタン、ジブロモクロロメタン、ブロモホルムの4種類の化合物の総称です。

Q 2−MIBとは、どういうものですか？

A 2−メチルイソボルネオールの略称で、水道水のカビ臭原因物質のひとつです。

Q CATとは、どういうものですか？

A 2-クロロ-4, 6-ビス(エチルアミノ)-S-トリアジンの別名で、農薬の一種です。

次ページにつづく

Q 弱酸性水がにおうのですが、どうしてでしょうか？（プールのようなにおい）

A 弱酸性水に次亜塩素酸が多く含まれているためです。
そのままお使いいただいて問題ありません。

電気分解により水中の塩素イオンが弱酸性水に集まり次亜塩素酸が発生します。

Q アルカリイオン整水器の近くにラジオを置くと雑音が入る？

A 本器の近くではラジオに雑音が入ることがあります。
ラジオを本器から離してください。

Q 電気代はどれくらいかかるのですか？

A 1ヵ月あたり、約40円です。

※1日10分使用、電気料金22円/kWhで算出

Q 水質切替ボタン上の、点字表示の内容は？

A 下表のとおりです。

水質切替ボタン	表示内容	お 知 ら せ
強2 アルカリ	5	アルカリの強さを「1～5」の数字で表示しています。 ※1→2→3→4→5の順にアルカリが強くなります。
強1 アルカリ	4	
3 アルカリ	3	
2 アルカリ	2	
1 アルカリ	1	
浄水	じょ	浄水（じょうすい）の「じょ」を表示しています。
弱酸性	さ	酸性（さんせい）の「さ」を表示しています。

Q 電解槽寿命850時間とは？

A 電解槽で電気分解ができる累計時間を表し、1日20分使用した場合、約7年相当になります。

電解槽に通電することで電極板が消耗します。「H31」の表示がでたら電解槽の寿命です。販売店に電解槽の交換を依頼してください。

アルカリイオン水について

Q 液晶表示のpHと、pH試験液で測定したpHが違うのですが、どうしてでしょうか？

A 水質により、pH試験液で測定したpHがアルカリ性を示さない場合があります。
そのときは、以下の処置をしてください。

①グリセロリン酸カルシウム製剤を添加する（42ページ参照）
②「高酸度」モードをONに設定する（38ページ参照）

Q 初めてアルカリイオン水を使うのですが、どうしたらいいでしょうか？

A 初めて飲む方は、「アルカリ1（飲み始め）」からご使用ください。

少量（コップ1～2杯）ずつを2週間程度使用し、アルカリイオン水に慣れてから、「アルカリ2（飲み慣れ）」または「アルカリ3（日常飲用）」でご使用ください。初めから「アルカリ3（日常飲用）」で飲むと、体調を損なうことがあります。

Q 薬を服用しているのですが、アルカリイオン水を飲んでも大丈夫でしょうか？

A 薬を服用する場合は、「浄水」をお使いください。

薬服用以外の飲用、調理にはアルカリイオン水をご使用いただけます。

パナソニックのホームページ http://panasonic.jp/ の「アルカリイオン整水器」でも、ご覧いただけます。

Q アルカリイオン水を飲みはじめたら下痢や発疹になった？

A 飲用を中止し医師にご相談ください。

ご相談の際は、下記2点をお伝えください。
- カルシウム・マグネシウム・ナトリウム・カリウムなどのミネラル分が、水道水より増えていること
- pH 8～9（飲み始め）程度のアルカリ性であること

Q 腎臓に持病があるのですが、アルカリイオン水を飲んでも大丈夫でしょうか？

A アルカリイオン水を飲用する前に医師にご相談ください。

ご相談の際は、下記2点をお伝えください。
- カルシウム・マグネシウム・ナトリウム・カリウムなどのミネラル分が、水道水より増えていること
- pH 9.5 程度のアルカリ性であること

Q アルカリイオン水には、カルシウムがどれくらい入っているのですか？

A 水中のカルシウムイオンは原水にくらべて電気分解により20%～30%増加します。また、グリセロリン酸カルシウムを添加した場合、水が電気分解されやすくなり、さらに約10%カルシウムイオンが増加します。

Q どのくらい日持ちするのですか？

A 常温では24時間以内にお使いください。

アルカリイオン水の場合、水道水の中の塩素（殺菌剤）が除去されており、一般細菌が増えやすくなっています。
冷蔵庫で保存する場合でも、清潔な密閉容器に入れて2日以内にお使いください。
※弱酸性水の場合も2日以内にお使いください。

Q アルカリイオン水は、氷にしても使えるのですか？

A 使えます。

氷にした場合、水道水で作った氷と同じようにお使いください。
自動製氷機能付きの冷蔵庫でタンクにくみ置きする場合は、2日以内で交換してください。

Q アルカリイオン水は、そのまま飲用する以外には使えないのですか？

A お料理やご飯の炊き水に、お茶やコーヒーにと、一般の水と同じようにお使いいただけます。（20ページ参照）

Q アルカリイオン水をコップに注ぐと白い泡がつきました。これは何ですか？

A 本体内の空気が混入したものか、または電気分解のときに発生した泡（水素ガス）です。設置後やカートリッジ交換後に多く発生することがあります。そのままお使いいただいて問題ありません。

※弱酸性水の場合、発生する泡は酸素ガスです。

Q アルカリイオン水が光って見えますが何ですか？

※ 浄水の場合も同じ現象が現れることがあります。

A 水に溶けている成分（主としてミネラル分）が析出したものです。

飲んでも問題はありませんが気になる場合は、pH（水素イオン濃度）を低くしてお使いください。またカートリッジの機能が低下した場合も同様の現象が現れますので、その場合は新しいカートリッジと交換してください。

Q やかんやジャーポットなどの容器に白い粉がつきますが何ですか？

A 水中のカルシウムが出てきたものです。

飲んでも問題ありませんが、気になる場合は容器を洗ってください。洗っても容器の白い粉がとれない場合は、薬店でクエン酸をお求めいただき、1リットルの水に50 gの割合で溶かし、2～3日つけた後洗い流してください。

Q アルカリイオン水で作った氷の溶けた水に白いものが浮きますが何ですか？

A 水に含まれているミネラル分です。

水を凍らせたときに、ミネラル分が氷の表面に固まったもので、飲んでも問題ありません。

次ページにつづく

Q アルカリイオン水で炊飯すると、ごはんがべたつきますが、どうしたらいいですか？

A 水加減や、お米、炊飯器の種類によっては、べたついたり黄色になることがあります。
アルカリイオン水のpH（水素イオン濃度）を低くするか、「浄水」をお使いください。

Q 乳幼児にはどのような水を飲ませたらいいのですか？

A 乳幼児には「浄水」の飲用をおすすめします。
乳幼児は、成人にくらべ胃腸の発達が未熟なため、離乳食に合わせて、「アルカリ1（飲み始め）」から徐々にならしてください。

カートリッジについて

Q カートリッジの交換目安となる年月を過ぎても交換の表示が出ないのですが、交換しなくていいのでしょうか？

A 交換をおすすめします。
使用量が少なく、ろ過性能はまだありますが、水質の変化などで、活性炭が急激に傷む場合があります。カートリッジは、長くても2年以内での交換をおすすめします。（47ページ参照）

Q カートリッジを交換したいのですが、どのカートリッジが使用できるのですか？

A カートリッジ品番TK7815C1をご使用ください。

酸性水について

Q アルカリイオン水使用中に、酸性水吐水口から出る酸性水のpHは、どの程度ですか？

A 下表をご参照ください。
pHは、水質・流量・pH微調整レベルにより異なります。

水　質	酸性水吐水口から出る酸性水のpH	用　途
アルカリ強2	3.5～4.5	ためて洗い物やお風呂などに
アルカリ強1	2.6～3.0（「pH3」の水質表示ランプが点灯したとき）	●茶しぶとり ●魚料理後のにおいとり
アルカリ3	3.0～4.5	ためて洗い物やお風呂などに
アルカリ2	4.0～5.5	
アルカリ1	5.0～6.5	

このような表示が出たときには

液晶表示に下記のような表示が出たときは、各々の処置をしてください。ただし、H31～H38の表示が出たときは、ご自分で分解修理は絶対しないで、お買い上げの販売店に連絡してください。

異常表示	原因と対応いただく内容
U21・U27	●水質、環境によっては、機器の保護のため電気分解を中止します。 （吐水口からは浄水が出ています。） ➜水栓を閉め、約3分間待って再度使用してください。
U22・U23	●水質、環境によっては、機器の保護のため電気分解を中止します。 （吐水口からは浄水が出ています。） ➜水栓を閉めて使用を中止し、約30分間お待ちください。 （水質、使用環境によっては、30分以上かかることがあります。）
U24	●pH校正が正常にできていません。 ➜以下の方法で再度pH校正をしてください。（51ページ参照） ❶ 戻る を押す （約20秒間、排水ホースから水が出ます。） ❷ 手順「5」から、再度pH校正をする
U25 ※カートリッジ交換のお願いと交互に表示	**流量が1.2 L／分を超えません。** **（通水すると、液晶表示が「流量」に変わります。）** ●目詰まりによるカートリッジの寿命です。 ➜カートリッジを交換してください。 （48、49ページ参照）
U26 ※カートリッジ交換のお願いと交互に表示	**交換の目安となる総通水量（12 000リットル）を超えました。** ●カートリッジの寿命です。 ➜カートリッジを交換してください。 （48、49ページ参照）
U28	●電解槽の寿命予告です。 （電解時間の累積が約847時間になると予告をします。） ➜**販売店にご相談ください。** 電解槽寿命は約850時間です。止水して、電源プラグを一度抜き、再度差し込むと、寿命までの残り約3時間（1日10分使用して、約3週間）使用できます。

次ページにつづく

このような表示が出たときには（つづき）

異常表示	原因と対応いただく内容
U29	**〔別売品の電磁弁アダプターを設置されている場合のみ表示します。〕** ●水栓を絞りすぎていませんか？ ➜水栓を開けてください。 ●水圧が低すぎませんか？ ➜水栓を全開にしてください。 流量を確認してください。 ●断水していませんか？ ➜水が出るまでお待ちください。 **上記を確認後、再度水質切替ボタンを押して通水してください。**
H31	●電解槽の寿命です。 電解時間：累積約850時間（イオン水生成時間・洗浄時間のみ） ➜**販売店に電解槽の交換を依頼してください。**
H32~H36 H38	●機器の故障です。 ➜**電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。**
H37	**※ 電源プラグを一度抜き、再度差し込んでください。** ●酸性水ホースまたは排水ホースが、折れたり、つぶれたりしていませんか？ ➜まっすぐにしてください。 **※ 以上の処置をしても、再度表示が出る場合は** ●pHセンサーの故障です。 ➜**電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。**

故障かな？と思ったときには

万一故障かなと思われることがありましたら、修理依頼される前に次のことを調べてください。
なお、異常のときは、ご自分で分解修理は絶対しないで、お買い上げの販売店に連絡してください。
※ 一度電源プラグを抜き、再度差し込むと、正常に復帰する場合があります。

■ こんな液晶表示のときには

症　状	原因と対応いただく内容	参照ページ
何も表示しない または 液晶表示が突然消えた	●節電のため、使用していないときは、自動的に消えるようになっています。 ➜故障ではありません。 ※ 設定モード・確認モードの場合も、2分以上ボタン操作をしないと、液晶表示が消えます。設定・確認は中止されますので、はじめから操作をやり直してください。	21
	●電源プラグが抜けていませんか？ ➜電源プラグを差し込んでください。	―
「準備中」の表示が点滅する	●設置直後またはカートリッジ交換直後に、通水すると約20秒間表示します。 ➜カートリッジ内の空気を抜いています。 約3〜4分間通水してください。	7 49
「電極洗浄中」の表示が点滅する	●24時間以上使用しなかったのでは？ （ブザーが「ピッピッ…」と約3秒間鳴る） ➜電極自動洗浄をしています。 約15秒間通水してください。	43
「アルカリ強1・強2」 「弱酸性」「浄水」使用後、 表示が「アルカリ」に変わる	●「アルカリ強1・強2」「弱酸性」「浄水」使用後、水栓を閉めると自動的に「アルカリ」に戻るようになっています。 ➜故障ではありません。	23
「浄水」使用後、表示が 「アルカリ」に戻らない	●「アルカリ」に戻らないよう（「アルカリ優先」OFF）に設定されているのでは？ ➜「アルカリ優先」ONに設定してください。	39
	●つづくランプが点灯しているのでは？ ➜故障ではありません。 約10分後に「アルカリ」に戻ります。	23
使用中、水栓を絞ると突然 「カートリッジ寿命表示」に 変わる	●水栓を絞りすぎたり、水圧の変化で流量が低下したためです。 ➜「アルカリ強1・強2」「弱酸性」「浄水」をご使用の場合は、再度水質切替ボタンを押し、水栓を開いて流量を調節してください。	24

次ページにつづく

故障かな？と思ったときには（つづき）

■ こんな液晶表示のときには（つづき）

症　状	原因と対応いただく内容	参照ページ
「電源プラグを抜いて再度差し込んでください」の表示が出る	●カートリッジの目詰まりなどで、流量が低下しています。 ➜電源プラグを一度抜き、再度差し込んでください。 使用を続けて「U25」を表示したときは、カートリッジを交換してください。	46
カートリッジを交換しても、「U25」または「U26」の表示が消えない	●カートリッジ寿命をリセットしていないのでは？ ➜『カートリッジを交換する』の手順3を参照し、カートリッジ寿命をリセットしてください。 ●電源プラグを抜いた状態で、カートリッジ寿命をリセットしたのでは？ ➜電源プラグを差し込み、カートリッジ寿命をリセットしてください。	48 49
カートリッジ交換の目安となる年月をすぎても、「U26」の表示が出ない	●使用量が少なく、交換の目安となる総通水量（12 000リットル）に達していないのでは？ ➜故障ではありません。 カートリッジ寿命表示を確認してください。 ※ろ過性能はまだありますが、水質の変化などで活性炭が急激に傷む場合があります。カートリッジは、長くても2年以内での交換をおすすめします。	46 47

■ 故障かな？

症　状		原因と対応いただく内容	参照ページ
排水ホース	使用後、水栓を閉めた後に水が出る	●本体内の水を排水しています。 ➜故障ではありません。	23
排水ホース	「弱酸性」使用中、水が出ない	●排水ホースが折れたり、つぶれたりしていませんか？ ➜まっすぐにしてください。	14 15
		●液晶表示に〔水栓を絞る〕の表示が出ていませんか？ ➜表示が消えるまで、水栓をゆっくりと絞ってください。	24
酸性水吐水口	「アルカリ」または「アルカリ強1・強2」使用中、水が出ない	●酸性水ホースが折れたり、つぶれたりしていませんか？ ➜まっすぐにしてください。 ●酸性水ホースは正しく接続されていますか？ ➜酸性水スタンドへの接続を確認してください。	13 14 15
		●液晶表示に〔水栓を絞る〕の表示が出ていませんか？ ➜表示が消えるまで、水栓をゆっくりと絞ってください。	24

	症　状	原因と対応いただく内容	参照ページ
水切換レバー	選択した吐水口以外から水漏れする	●水切換レバー内部へのカルシウムなどの付着が原因と考えられます。 ➡薬局でクエン酸をお求めいただき、1リットルの水に約50グラムの割合で溶かし、水切換レバーを約12時間つけた後に水洗いしてください。	―
その他	吐水量が少ない、または出ない ※「流量が低下しています」と「水栓を絞りすぎていませんか」・「ホースが折れていませんか」の表示が交互に出る	●水圧が低すぎませんか？ ➡水栓を全開にしてください。 流量を確認してください。	29
		●水栓を絞りすぎていませんか？ ➡水栓を開けてください。	―
		●水切換レバーのフィルターが目詰まりしていませんか？ ➡フィルターを清掃してください。	44 45
		●カートリッジを確実に取り付けていますか？ ➡確実に取り付けてください。	48 49
		●断水していませんか？ ➡水が出るまでお待ちください。	43
		●給水ホースが折れたり、つぶれたりしていませんか？ ➡まっすぐにしてください。	14 15
		※ 以上の処置をしても、再度表示が出る場合は、カートリッジの目詰まりなどで流量が低下しています。	―
	本体に通水すると、水が温かい	●通水初期は、止水中に室温や本体内の熱により温められた水が出ることがあります。 ➡故障ではありません。水を流してください。	―
	「弱酸性」を使用してもブザーが鳴らない	●「弱酸性ブザー」をOFFに設定しているのでは？ ➡「弱酸性ブザー」をONに設定してください。	39
	においやいやな味、濁りがとれない	●カートリッジの除去能力が低下しています。 ➡カートリッジを交換してください。	48 49
		●カートリッジ交換後、2～3ヵ月以内に、においがした場合は、通水路またはカルシウム添加筒に汚れが付着している可能性があります。 ➡別売品の「通水路洗浄剤」で洗浄してください。	71

次ページにつづく

■ 故障かな？ （つづき）

	症状	原因と対応いただく内容	参照ページ
その他	生成水のpHが「pHの目安」の範囲に入らない	●カートリッジが新しいとき（約1週間）は、pHがやや高くなることがあります。 ➜故障ではありません。約1週間後、再度pHを測定してください。	—
	弱酸性水のpHが中性を示す	●弱酸性水のpHが6.5程度の場合は、pH測定表のpH7（中性）と見分けがつかないことがあります。 ➜「弱酸性」を使用中に排水ホースから出てくる水を測定し、pHが10～11を示していれば、弱酸性水はpH 6.5 程度になっています。	—
	本体の下から水が出る	●温湿度条件によっては、本体内部に結露水が発生することがあります。 ➜故障ではありません。 別売品の「結露水排水ホース」を取り付けてください。（本体底面イラスト参照）	13 72
	電源を入れたときや待機時に、本体から音がする	●本体内のモーターが回転している音です。 ➜故障ではありません。	—
	使用後、水栓を閉めた後に本体から音がする	●本体内の水を排水している音です。 ➜故障ではありません。	—
	吐水量表示と実際の吐水量に、大きな差がある	●酸性水ホースまたは排水ホースが、折れたり、つぶれたりしていませんか？ ➜まっすぐにしてください。 ●酸性水吐水口および排水ホース先端と、吐水口との高低差は、10 cm以上50 cm未満になっていますか？ ➜高低差を、10 cm以上50 cm未満にしてください。	14 15
		●酸性水吐水口と吐水口の高低差は、設定されていますか？ ➜高低差の設定をしてください。 ●酸性水吐水口と排水ホース先端の高低差は、10 cm以内になっていますか？ ➜高低差を、10 cm以内にしてください。	32
		※以上の処置を行っても、吐水量表示と実際の吐水量に大きな差がある場合は、「吐水量表示の補正」を行ってください。	34
	ドライヤーを使用すると、整水器本体から音がする	●ドライヤーの種類によっては、音がすることがあります。 ➜故障ではありません。	—

	症　状	原因と対応いただく内容	参照ページ
その他	アルカリイオン水のpHがアルカリ性を示さない	●水質が「アルカリ」になっていないのでは? (「弱酸性」または「浄水」になっている) ➡水質切替ボタンで「アルカリ」に切り替えてください。	22
		●水質によっては、アルカリ性を示さない場合があります。 (水中の炭酸の影響) ➡故障ではありません。以下の処置をしてください。 ①「アルカリ」のpHを微調整する ② グリセロリン酸カルシウム製剤を添加する ③「高酸度」モードをONに設定する	25 26 38 42 55
		●酸性水ホースまたは排水ホースが、折れたり、つぶれたりしていませんか? ➡正しく電気分解できません。まっすぐにしてください。	14 15
	pHが上がりにくくなってきた	●本体内にカルシウム分が付着し、電解能力が低下しています。 ➡別売品の「本体洗浄用カートリッジ」で洗浄してください。	71
	弱酸性水がにおう (プールのようなにおい)	●電気分解により水中の塩素イオンが弱酸性水に集まり、次亜塩素酸が発生するためです。 ➡故障ではありません。	58
	カルシウム添加筒が変色する	●カルシウム添加筒に汚れが付着しています。 ➡別売品の「通水路洗浄剤」で洗浄してください。	71
	アルカリイオン水に白い浮遊物が混じる	●本体内部に付着したカルシウム分です。 ➡別売品の「本体洗浄用カートリッジ」で洗浄してください。	71
	カートリッジ交換後の、吐水量が少ない	●カートリッジ内の空気が抜けていないためです。 ➡故障ではありません。約3〜4分間通水してください。	—
	水を止めても、吐水口からポタポタと水が出る	●吐水パイプ内の水が抜けています。 ➡故障ではありません。	23 43

次ページにつづく

■ 水漏れがあるときには

水漏れ個所	原因と対応いただく内容	参照ページ
水切換レバー接続部	●水切換レバーを水栓に確実に取り付けていますか？ ➜確実に取り付けてください。 ※ 泡沫用つぎての締めつけが弱いときは、給水ホースをいったん取りはずし、水切換レバーごと回転させると、しっかり締めつけられます。	10 11
	●水切換レバー内の部品は正しく入っていますか？ ➜正しく取り付けてください。	45
給水ホース接続部	●給水ホースを水切換レバーに確実に取り付けていますか？ ➜奥まで差し込み、ホース締付ナットで締めつけてください。	14
吐水パイプ接続部	●吐水パイプを本体に確実に取り付けていますか？ ➜止まるまで、しっかりねじ込んでください。 ●パッキンは付いていますか？また、ねじれていませんか？ ➜パッキンを正しく取り付けてください。	15

水漏れ個所	原因と対応いただく内容	参照ページ
本体上部	●カルシウムキャップを本体に確実に取り付けていますか？ ➡カルシウムキャップは「閉」の位置まで締めてください。	42
本体底部	●カートリッジを確実に取り付けていますか？ ➡確実に取り付けてください。	48 49
水栓部分	●水栓のパッキンが古くなっていませんか？ ➡水道工事店にご相談ください。 ●水栓（断熱キャップなど）にひび割れがありませんか？ ➡水道工事店にご相談ください。	—

仕　様

項目		仕様
類別		器具器械（83）医療用物質生成器
一般的名称		連続式電解水生成器
販売名称		アルカリイオン整水器　TK7815
医療機器承認番号		21600BZZ00447000
定格		交流100 V　3.5 A　50 － 60 Hz
消費電力		約270 W（待機時：約0.7 W）
本体	寸法	幅220 mm×奥行154 mm×高さ331 mm
	質量	約5.3 kg（満水時：約5.8 kg）
本体使用水温		35 ℃未満（水切換レバーは80 ℃未満）
本体使用可能水圧（動水圧）		70 kPa～350 kPa
使用可能配水管圧力（静水圧）		70 kPa～750 kPa
電解	電解方式	連続電解方式
	吐水量（生成水流量）	1.9 L/分［水圧100 kPa（「pH/ORP表示」モード）のとき］
	電解能力切替	アルカリ：5段階　　酸性：2段階
	連続使用可能時間	常温時約1時間〔「排水少なめ」・「高酸度」モード時：約10分間〕 〔アルカリ強1・強2、弱酸性時：約10分間〕　（注2）
	電解槽寿命	累積約850時間（イオン水生成時間・洗浄時間のみ）
	電極洗浄	オートクリーニング方式（洗浄時間約35秒、排水時間約15秒）
浄水吐水量		2.5 L/分［水圧100 kPaのとき］
ろ過流量		2.5 L/分［水圧100 kPaのとき］
本体装着カートリッジ		TK7815C1
浄水能力（注1）	遊離残留塩素	12 000 L　（注3）
	濁り	12 000 L　（注4）
	総トリハロメタン	12 000 L　（注3）
	クロロホルム	12 000 L　（注3）
	ブロモジクロロメタン	12 000 L　（注3）
	ジブロモクロロメタン	12 000 L　（注3）
	ブロモホルム	12 000 L　（注3）
	テトラクロロエチレン	12 000 L　（注3）
	トリクロロエチレン	12 000 L　（注3）
	1,1,1-トリクロロエタン	12 000 L　（注3）
	CAT（農薬）	12 000 L　（注3）
	2－MIB（カビ臭）	12 000 L　（注3）
	溶解性鉛	12 000 L　（注3）
ろ材（カートリッジ）の取替（交換）時期の目安		約1年（1日30 L使用時）〔約2年（1日15 L使用時）〕　（注5）
ろ材の種類		不織布・粒状活性炭・セラミック・粉末活性炭・中空糸膜
除去できる物質		遊離残留塩素・濁り・総トリハロメタン・クロロホルム・ ブロモジクロロメタン・ジブロモクロロメタン・ブロモホルム・ テトラクロロエチレン・トリクロロエチレン・ 1,1,1-トリクロロエタン・CAT（農薬）・2-MIB（カビ臭）・溶解性鉛
除去できない物質		水中に溶け込んでいる鉄分・重金属類（銀・銅など）や塩分（海水）
カルシウム添加		強制溶解添加方式、添加筒内蔵〔電解補助剤として〕
電源コードの長さ		約2 m
電源保護装置		電流ヒューズ：6.3 A
過昇温度保護装置（絶縁トランス内）		過熱防止器（自動復帰式、作動温度：120 ℃） 温度ヒューズ（作動温度：145 ℃）　2個
製造販売元		パナソニック株式会社　東京都港区西新橋2－38－5　西新橋MFビル
製造元		パナソニック株式会社　大阪府門真市大字門真1006番地

※ 数値は水温20℃時の値です。　　※ 硬水を軟水に変えることはできません。
※ 通水量および1日の使用水量は、吐水口・酸性水吐水口・排水ホースからの水量を合計したものです。
(注1) アルカリイオン水、弱酸性水で使用できる水は、ろ過流量の約75 %に相当します。
(注2) 水質・吐水量・使用環境によって短くなることがあります。
(注3) JIS S 3201 試験による除去率 80 %の値。
(注4) JIS S 3201 試験によるろ過流量の 50 %の値。
(注5) 使用水量・水質・水圧によって大幅に短くなることがあります。

別売品

お買い上げの販売店またはパナソニックの製品を扱っている販売店で購入してください。
使いかた、取り付けかたについては、それぞれに付属の説明書をよくお読みください。

(価格は2011年4月現在のものです。)

消　耗　品

●交換用カートリッジ ★
品　番：TK7815C1
希望小売価格：12,600 円(税込)

●グリセロリン酸カルシウム製剤 ★
1　袋：6 g入　12本
品　番：P-A5101
希望小売価格：3,990 円(税込)
※ 本体付属品とは包装が異なります。

●pH 試験液 ★
品　番：TK805003
希望小売価格：630 円(税込)
(18ページ参照)

●pH センサー校正液セット ★
品　番：TK780503
希望小売価格：1,260 円(税込)
(50ページ参照)

●通水路洗浄剤 ★
品　番：PVL-P8641S
希望小売価格：1,260 円(税込)
● 添加筒や通水路の汚れや、においが気になるとき、お使いください。(44ページ参照)

●本体洗浄用カートリッジ ★
品　番：PRA-B8620S
希望小売価格：2,100 円(税込)
● カルシウム除去専用 (44ページ参照)

分岐水栓で取り付けるとき

●分岐水栓アダプター ★
品　番：P-A3604
希望小売価格：2,520 円(税込)
(9ページ参照)

●電磁弁アダプター
品　番：P-A7804
希望小売価格：13,440 円(税込)
※ 定量止水機能(31ページ参照)を使う場合に設置します。
(販売店にご相談ください。)

水栓が大型のとき

大型水栓用金具 (内径32.5 mm)
品　番：P-06JR
希望小売価格：1,155 円(税込)
● 水栓先端径が24 mm～32 mmの水栓に
(9ページ参照)

吐水パイプを延長するとき

延長吐出管(延長吐水パイプ) (長さ:約30 cm)
品　番：P-A5102
希望小売価格：4,200 円(税込)

次ページにつづく

別売品（つづき）

泡沫水栓用つぎて（内ねじ用）

- 品　番：PRV-D8623K
  KVK・TOTO製水栓用〔W23, 山20〕
- 品　番：PRV-D8623M
  ミズタニ・MYM製水栓用〔W24, 山20〕
- 品　番：PRV-D8623G
  GROHE・カクダイ・MOEN・YANMAR・タカギ製水栓用〔M24, ピッチ1 mm〕

希望小売価格：各 1,050 円（税込）

- 水栓メーカー・品番をご確認のうえ、販売店にご相談ください。（9ページ参照）

結露水排水ホース（長さ1.5 m）★

品　番：PDB-C8616K
希望小売価格：1,050 円（税込）

- 66ページの「本体の下から水が出る」をご参照ください。

給水ホース（長さ2.5 m）

品　番：PDB-C8679A
希望小売価格：1,365 円（税込）

- 付属の給水ホース（約90 cm）では長さが足りないときに

酸性水ホース（長さ2.5 m）

品　番：TK780507
希望小売価格：1,575 円（税込）

- 付属の酸性水ホース（約60 cm）では長さが足りないときに

排水ホース（長さ2.5 m）

品　番：TK780506
希望小売価格：1,575 円（税込）

- 付属の排水ホース（約60 cm）では長さが足りないときに

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
★印はパナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

CLUB Panasonic
Pana Sense

http://club.panasonic.jp/mall/sense/

保証とアフターサービス （よくお読みください）

使いかた･お手入れ･修理 などは
■まず､お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	(　　　)　　－
お買い上げ日	年　　月　　日

修理を依頼されるときは
「このような表示が出たときには」「故障かな？と思ったときには」(61～69ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	アルカリイオン整水器
●品　番	TK7815
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は､保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間(ただし消耗品は､保証期間内でも｢有料｣とさせていただきます)

●保証期間終了後は､診断をして修理できる場合は､ご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断･修理･調整･点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 7年
当社は､このアルカリイオン整水器の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を､製造打ち切り後7年保有しています。

●商品の点検訪問について
お客様からのご相談なしに、商品およびカートリッジの点検案内をすることはありません。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては､回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた･お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 携帯･PHS OK **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は………………

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 携帯･PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
•上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道地区	札 幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三 重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥 取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
	広 島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳 島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 0511

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！

PC http://club.panasonic.jp/
携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※ご愛用者登録には、CLUB Panasonic 会員への登録が必要です。
※登録時は、商品の品番を事前にご確認ください。
※このサービスはWEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「530#」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan **Tokyo** (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は……

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検 長年ご使用のアルカリイオン整水器の点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源プラグを差し込んでも何も表示しない
- 異常表示（U21～U29）を表示し、処置を行っても再度異常表示が出る
- 異常表示（H31～H38）が出る
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故の防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社
ビューティ・リビングビジネスユニット
〒522－8520　滋賀県彦根市岡町33番地

2012年1月1日（第2版）
2007年3月1日作成（新様式第1版）
ZGS0TK7815S10D　S0107T5012S Ⓓ